

シンプル文字盤取扱説明書

株式会社 日立ケーイーシステムズ

はじめに

シンプル文字盤を使用する場合は、本取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
「伝の心」の操作に関しては電子マニュアル「「伝の心」取扱説明書」をご参照ください。また、視線入力オプションを使用する場合は、「視線入力オプション取扱説明書」も併せてご参照ください。

重要なお知らせ

■ 保証について

「伝の心」の無償保証期間は、本システム装置に同梱されている保証書に記載されている期間とします。

オプションに関してはオプション品に同梱されている保証書に記載されている期間とします。

故障が発生した場合は、販売会社へご連絡ください。

なお、つぎに該当する場合は、保証の範囲から除外させていただきます。

- お客様の不適切な取扱い、使用による場合。
- 故障の原因が納入品以外の事由による場合。
- 納入者以外の改造または修理による場合。
- その他、天災、災害など納入者の責にあらざる場合。

ここで言う保証は納入品単体を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。また、保証は日本国内においてのみ有効です。(Effective only Japan)

■ お断り

- 本書の内容の一部または全部を、無断で転載あるいは引用する事を禁止します。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本製品(オプション品)を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品(オプション品)は日本国内のみに使用してください。(For Japanese Domestic Use Only)

■ 商標と技術について

- 「伝の心」は株式会社 日立ケーイーシステムズの登録商標です。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

動作環境

対象機器	伝の心
対応アプリケーション	伝の心 Ver.06-50 以降
OS	Windows 11
メモリ	8GB
USB	2.0 以上

目次

はじめに	2
動作環境	2
<hr/>	
はじめて使うときの準備	5
<hr/>	
「伝の心」のモードを設定しましょう	6
モードを変更する時は、まず伝の心を停止します	6
タッチモードで使用する場合	7
視線モードで使用する場合	8
まばたきスイッチを使用する場合は、スイッチモードでの使用になります	10
スイッチモードで使用する場合	11
タッチモードからの変更	11
視線モードからの変更	12
シンプル文字盤を使えるようにします	13
視線モードで使用する場合の追加設定	15
注視時間の設定	15
スキャン速度の設定	16
<hr/>	
シンプル文字盤を使う（基本編）	18
<hr/>	
スイッチモードでの使い方	19
選択候補枠に入った文字をスイッチで選択するだけです	19
タッチモードでの使い方	21
選択候補枠に入った文字をマウスでクリックするだけです	21
視線モードでの使い方	24
選択候補枠に入った文字を注視するだけです	24
<hr/>	
シンプル文字盤を使う（詳細編）	28
<hr/>	
文字盤の機能一覧	29
文字盤の遷移	29
第1階層（ひらがな）→第2階層	29

第2階層（あ行）→第3階層.....	29
第1階層（アルファベット）→第2階層.....	30
機能メニュー 	30
削除メニュー 	30
機能ボタンの動作（緑色ボタン）	31
機能ボタンの動作（橙色ボタン）	36
機能ボタンの動作（赤色ボタン）	37
各モードに特化した使い方	38
スイッチモード	38
2点スイッチ	38
タッチモード	39
スキャン方向の反転	39
視線モード	41
スキャン方向の反転	41
「視線そらし」を使う	43
制限事項	46
文字の大きさについて	46
文字盤の大きさについて	46
文字盤の拡大表示について	46
会話ログの保存について	46
こんな時には	48
スイッチで操作ができない	48
視線で操作ができない	48
「「伝の心」取扱説明書」を確認したい	48
「視線入力オプション取扱説明書」を確認したい	48
サポート	49

はじめて使うときの準備

「伝の心」のモードを設定しましょう

「伝の心」は「スイッチモード」「タッチモード」「視線モード」の3つのモードで動作します。

ご購入時は「スイッチモード」に設定されています。「タッチモード」や「視線モード」でご使用になるばあいは、下記の手順でモードを変更してください。

モードを変更しない場合は 13 ページの「シンプル文字盤を使えるようにします」に進んでください。

スイッチモード

スイッチやセンサーで項目を選択して操作するモード

タッチモード

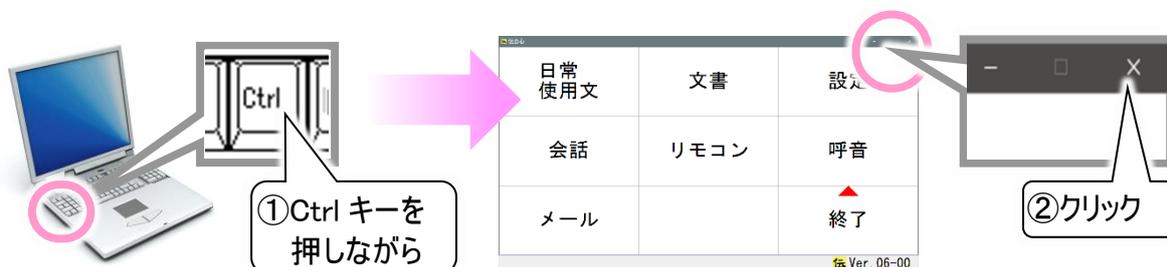
マウスクリックで直接項目を選択して操作するモード

視線モード(オプション)

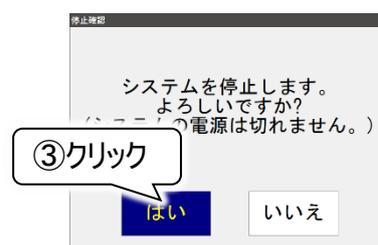
視線による項目の選択によって操作するモード

モードを変更する時は、まず伝の心を停止します

- (1) 「伝の心」のメインメニューを表示します。
- (2) キーボード左側にある「Ctrl」キーを押したまま、「伝の心」トップ画面の右上 × ボタンをマウスでクリックしてください。



- (3) 右記のメッセージが表示されるので、「Ctrl」キーの押下を止め、「はい」を選択してください。「伝の心」が終了して、デスクトップ画面が表示されます。



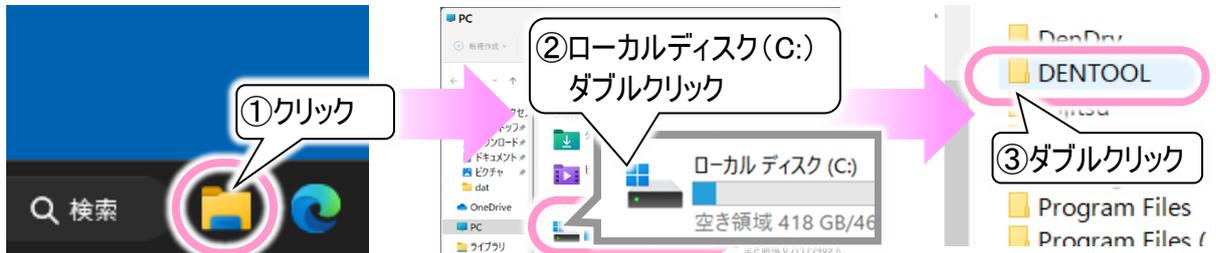
- (4) タッチモードで使用する場合は、7 ページの「タッチモードで使用する場合」に進んでください。

視線モードで使用する場合は、8 ページの「視線モードで使用する場合」に進んでください。
スイッチモードで使用する場合は、11 ページの「スイッチモードで使用する場合」に進んでください。

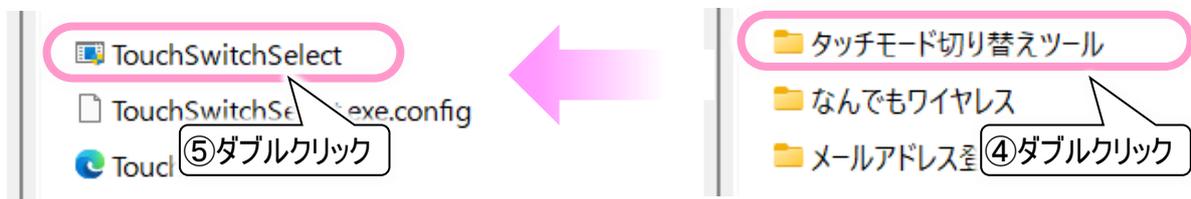
※現在使用しているモードを使用する場合(モードを変更しない場合)は、13 ページの「シンプル文字盤を使えるようにします」に進んでください。

タッチモードで使用する場合

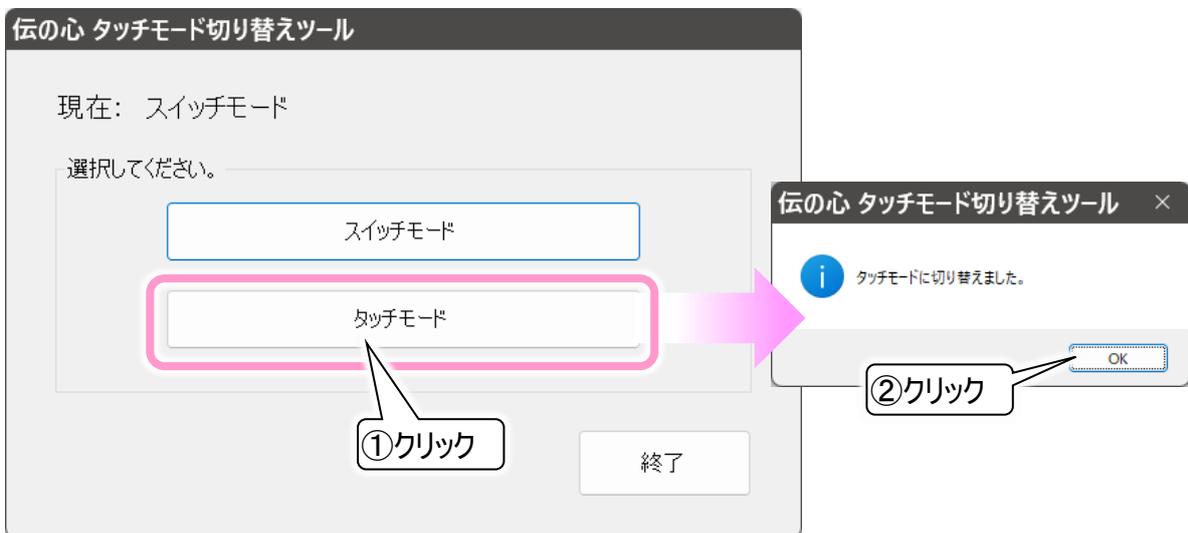
- (1) デスクトップ画面下のタスクバーにて、 [エクスプローラー]アイコンをマウスでクリックします。
(※アイコンを右クリックして表示されたメニューから「エクスプローラー」を選択しても同様です。)
次に[ローカルディスク(C:)]⇒[DENTOOL]⇒[タッチモード切り替えツール]の順にダブルクリックします。



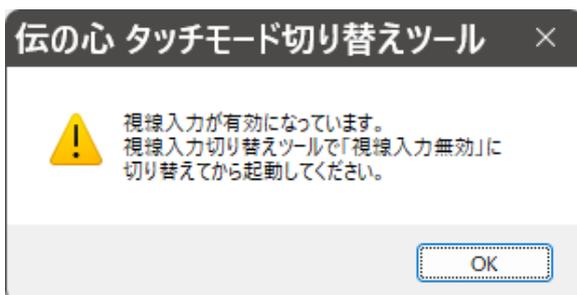
- (2) さらに、[タッチモード切り替えツール]フォルダーの
[TouchSwitchSelect]をダブルクリックしていきます。



- (3) 下記のような画面が表示されるので、**タッチモード**ボタンをクリックしてください。

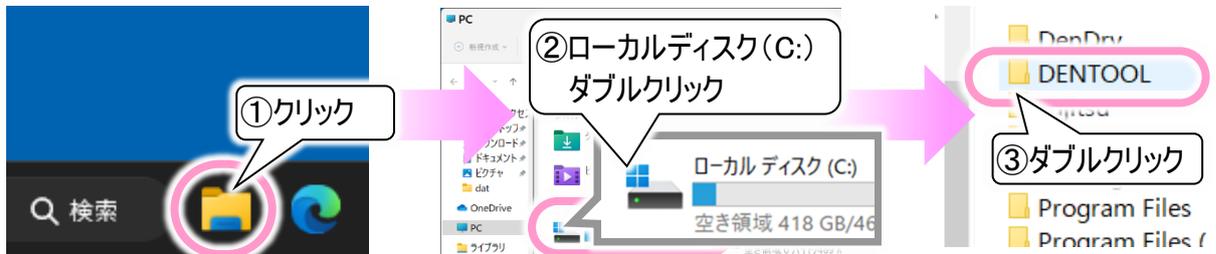


下記のようなメッセージが表示される場合は、8 ページの「視線モードで使用する場合」を参照して「視線入力無効」の設定を行い、再度(2)項から実施ください。

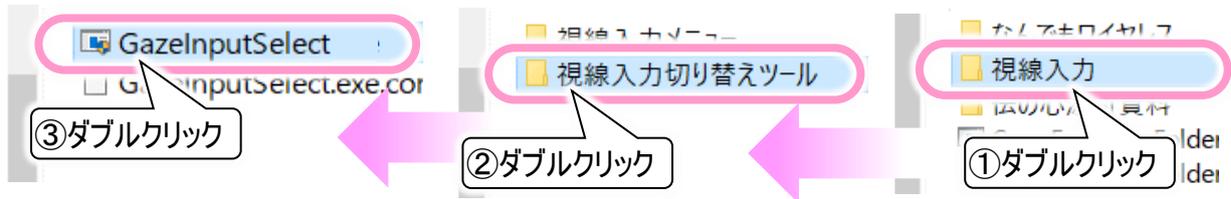


視線モードで使用する場合

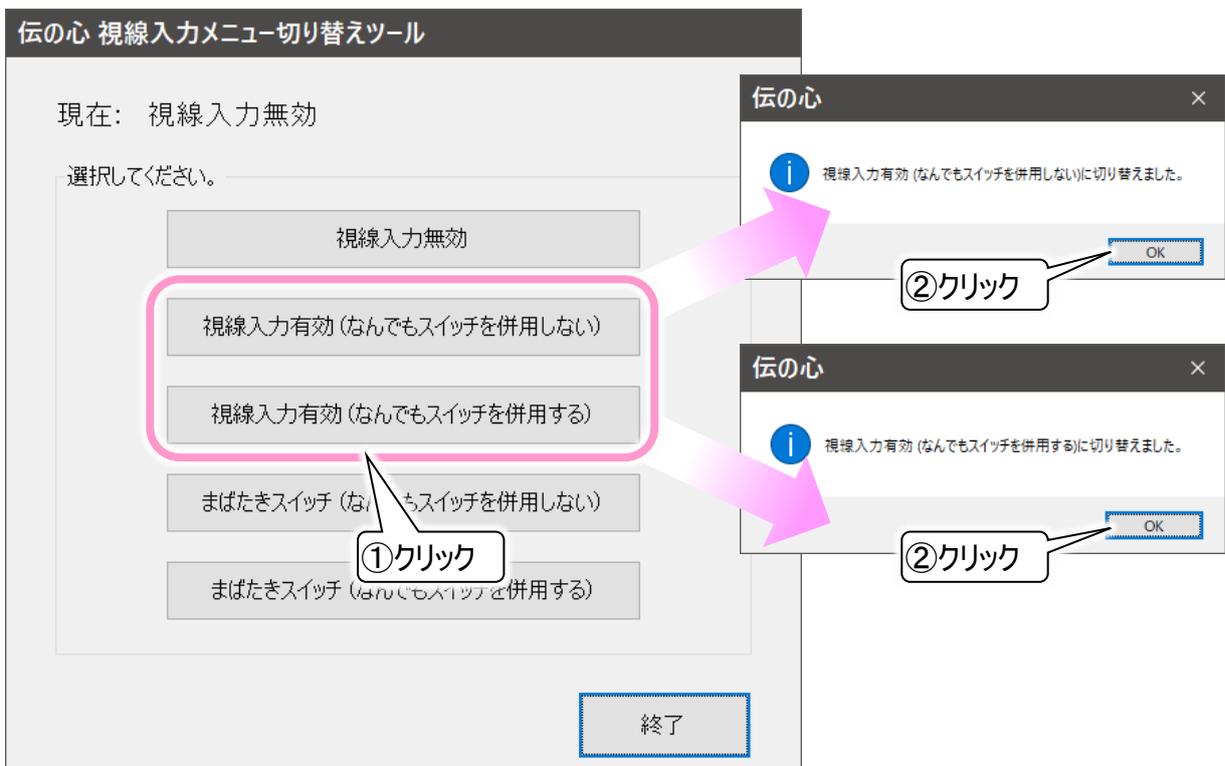
- (1) 視線入力オプションの準備を行います。
※視線入力オプションのセットアップに関しては、「視線入力オプション取扱説明書」を参照ください。
- (2) デスクトップ画面下のタスクバーにて、 [エクスプローラー]アイコンをマウスでクリックします。
(※アイコンを右クリックして表示されたメニューから「エクスプローラー」を選択しても同様です。)
次に[ローカルディスク(C:)]⇒[DENTOOL]⇒[視線入力]の順にダブルクリックします。



- (3) [視線入力]フォルダーより、[視線入力切り替えツール]⇒
[GazeInputSelect] の順にダブルクリックします。



- (4) 下記のような画面が表示されますので、視線でクリック(決定)する場合は視線入力有効(なんでもスイッチを併用しない)ボタンを、視線でマウスポインターを動かし、スイッチ入力でクリック(決定)する場合は視線入力有効(なんでもスイッチを併用する)ボタンをクリックしてください。



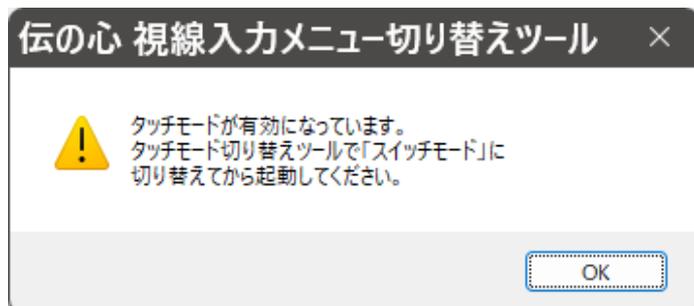
※なんでもスイッチを併用する場合は、2点スイッチは使用できません。

視線入力を有効にする前に、「支援者用設定」で2点スイッチの設定を行っていても1点スイッチに変更されます。

※なんでもワイヤレスの設定がリセットされます。

なんでもワイヤレスを使用している場合は、なんでもスイッチを併用設定にすると、スイッチの設定がなんでもスイッチに戻ります。お手数ですが再度なんでもワイヤレスを使用する設定に変更ください。

- (5) 下記のようなメッセージが表示される場合は、7ページの「タッチモードで使用する場合」を参照して「スイッチモード」に設定し、再度(2)項から実施ください。

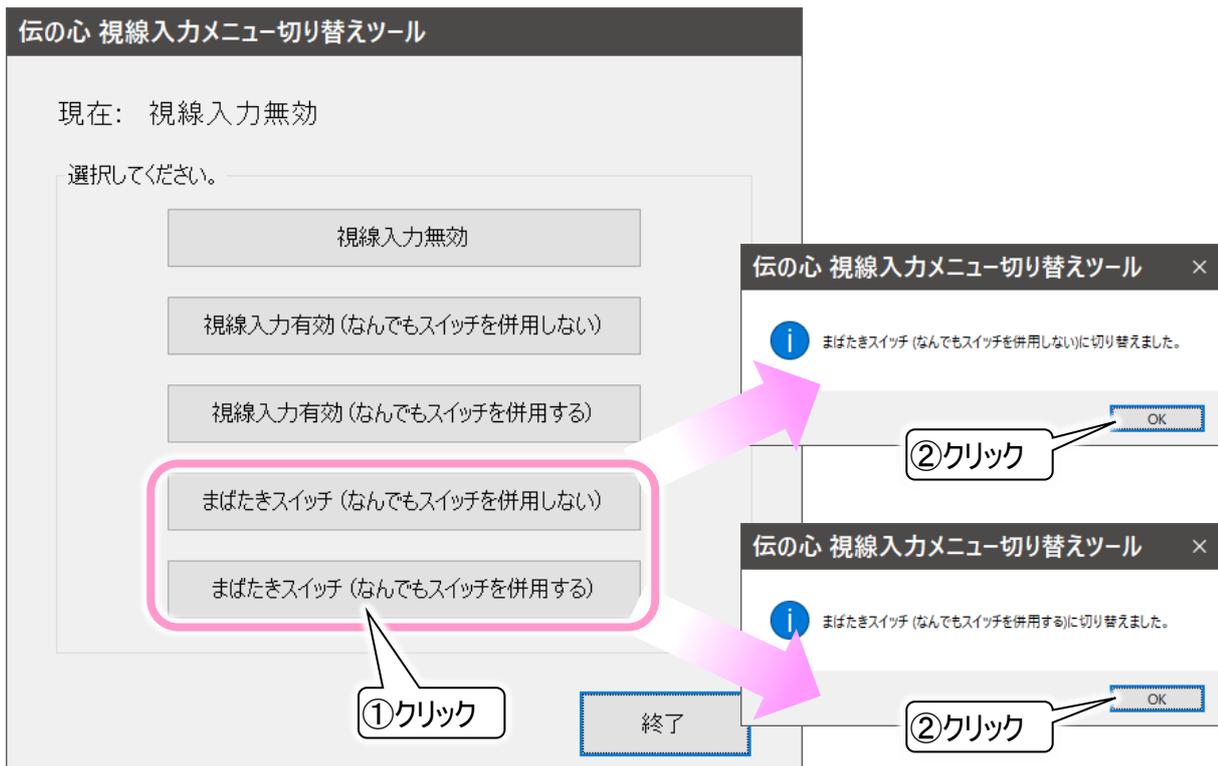


まばたきスイッチを使用する場合は、スイッチモードでの使用になります

視線入力オプションとして、「まばたきスイッチ」を使用することができます。これは視線の注視によって決定（マウスクリック）する入力方法ではなく、まばたきによる瞳の個数変化によってスイッチ入力するオプション機能です。

シンプル文字盤の使用方法は、スイッチモードでの使用方を参照してください。

まばたきのみでスイッチ入力する場合は「まばたきスイッチ(なんでもスイッチを併用しない)」ボタンを、まばたきとスイッチの両方でスイッチ入力する場合は「まばたきスイッチ(なんでもスイッチを併用する)」ボタンをクリックしてください。



※まばたきスイッチは、なんでもワイヤレスとの併用はできません。

なんでもワイヤレスを使用している場合は、なんでもスイッチを併用設定にすると、スイッチの設定がなんでもスイッチに戻ります。

※なんでもスイッチを併用する場合は、2点スイッチは使用できません。

視線入力を有効にする前に、「支援者用設定」で2点スイッチの設定を行っていても1点スイッチに変更されます。

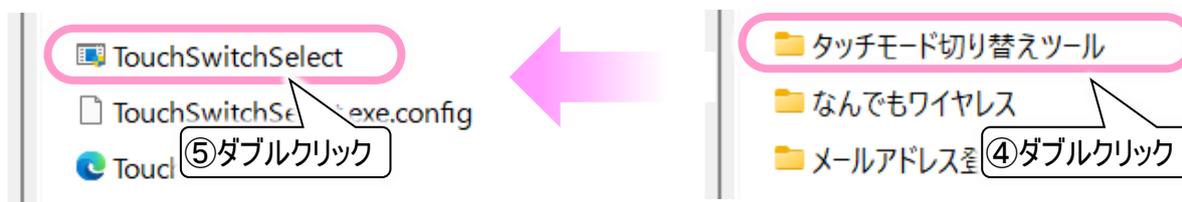
スイッチモードで使用する場合

タッチモードからの変更

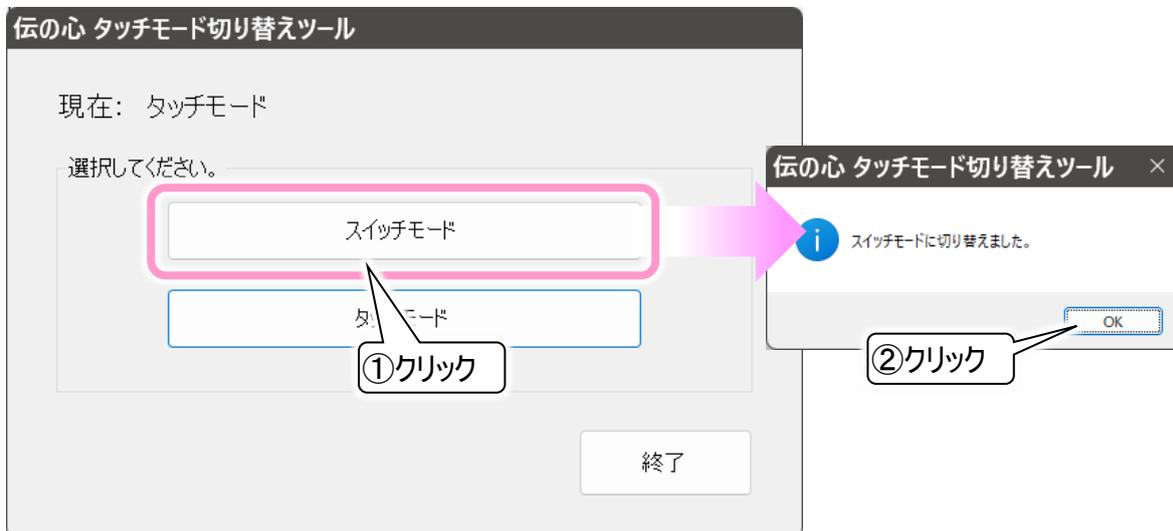
- (1) デスクトップ画面下のタスクバーにて、 [エクスプローラー]アイコンをマウスでクリックします。
(※アイコンを右クリックして表示されたメニューから「エクスプローラー」を選択しても同様です。)
次に[ローカルディスク(C:)]⇒[DENTOOL]⇒[タッチモード切り替えツール]の順にダブルクリックします。



- (2) さらに[タッチモード切り替えツール]フォルダーの [TouchSwitchSelect]をダブルクリックしていきます。

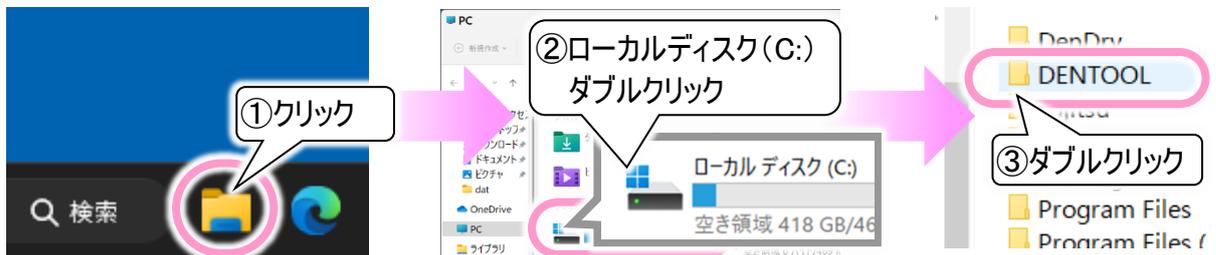


- (3) 下記のような画面が表示されるので、**スイッチモード**ボタンをクリックしてください。

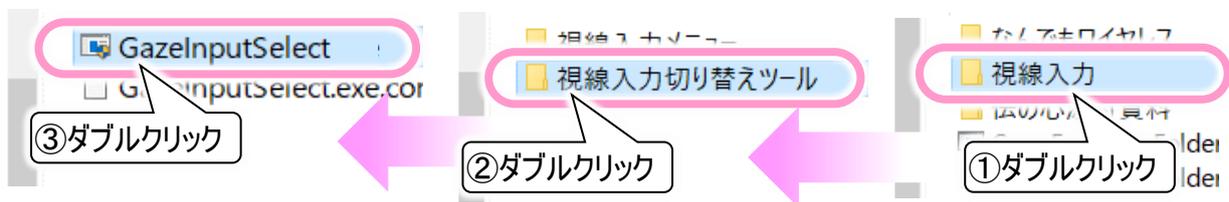


視線モードからの変更

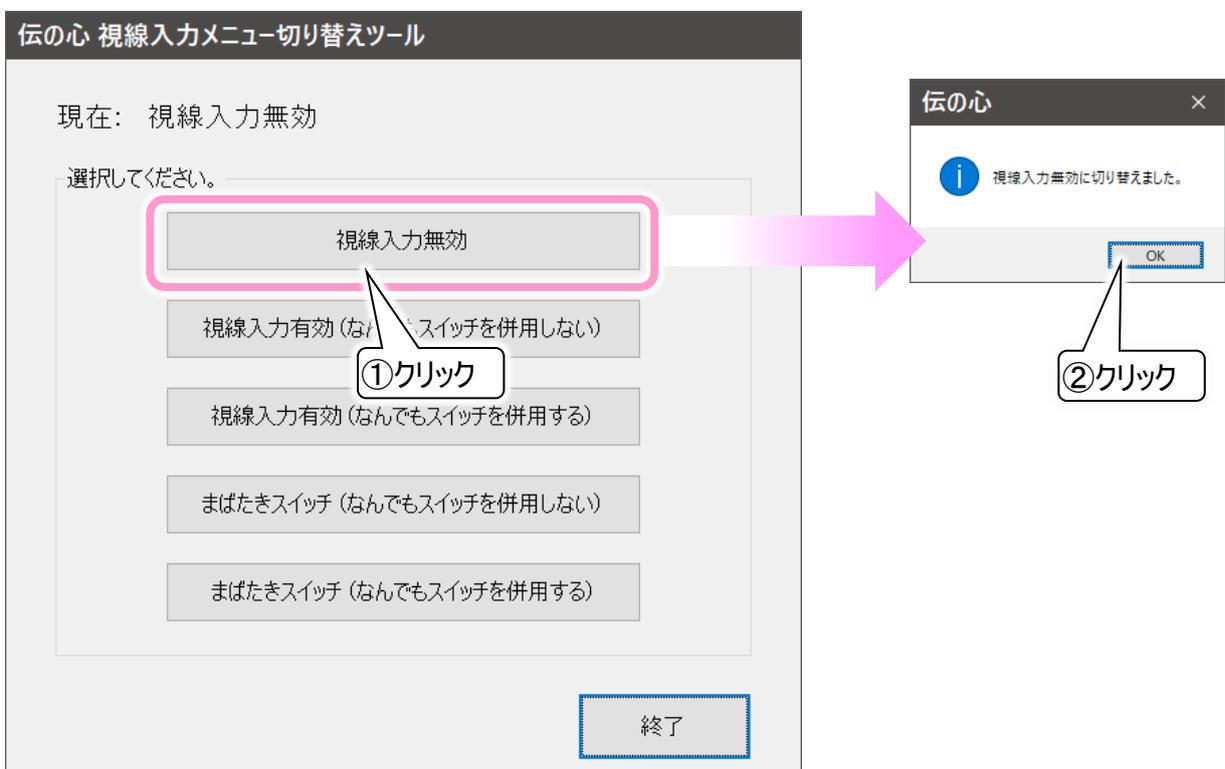
- (6) デスクトップ画面下のタスクバーにて、 [エクスプローラー]アイコンをマウスでクリックします。
(※アイコンを右クリックして表示されたメニューから「エクスプローラー」を選択しても同様です。)
次に[ローカルディスク(C:)]⇒[DENTOOL]⇒[視線入力]の順にダブルクリックします。



- (7) [視線入力]フォルダーより、[視線入力切り替えツール]⇒
[GazeInputSelect.] の順にダブルクリックします。

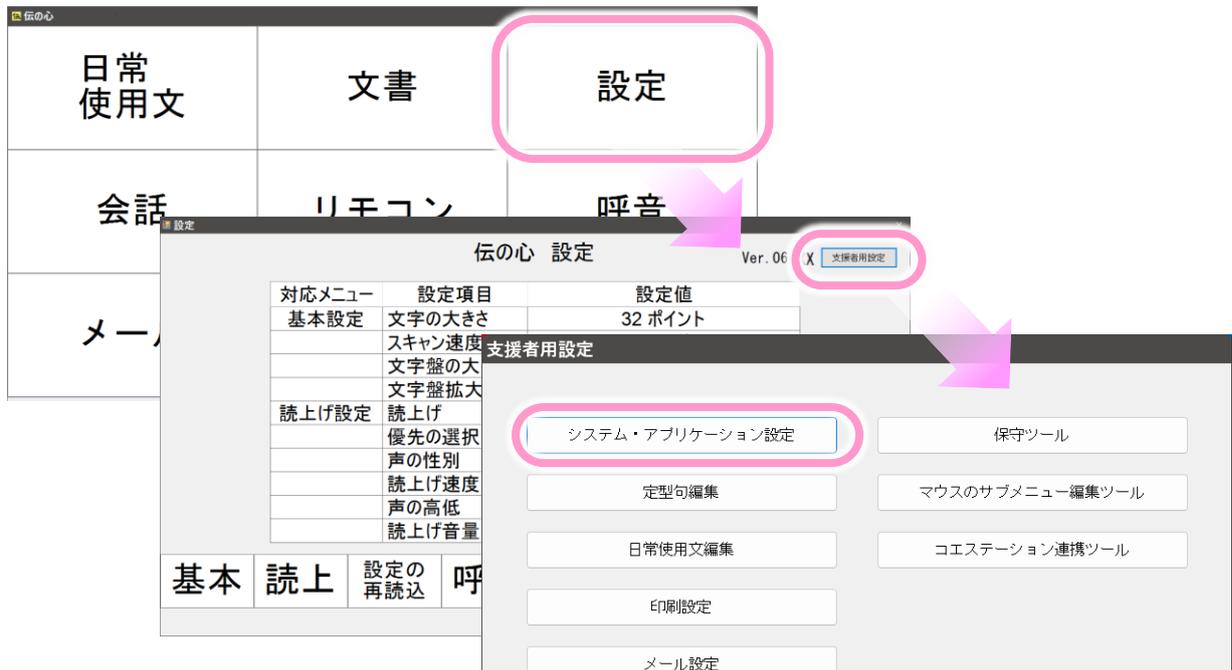


- (8) 下記のような画面が表示されますので、視線でクリック(決定)する場合は**視線入力無効**ボタンをクリックしてください。



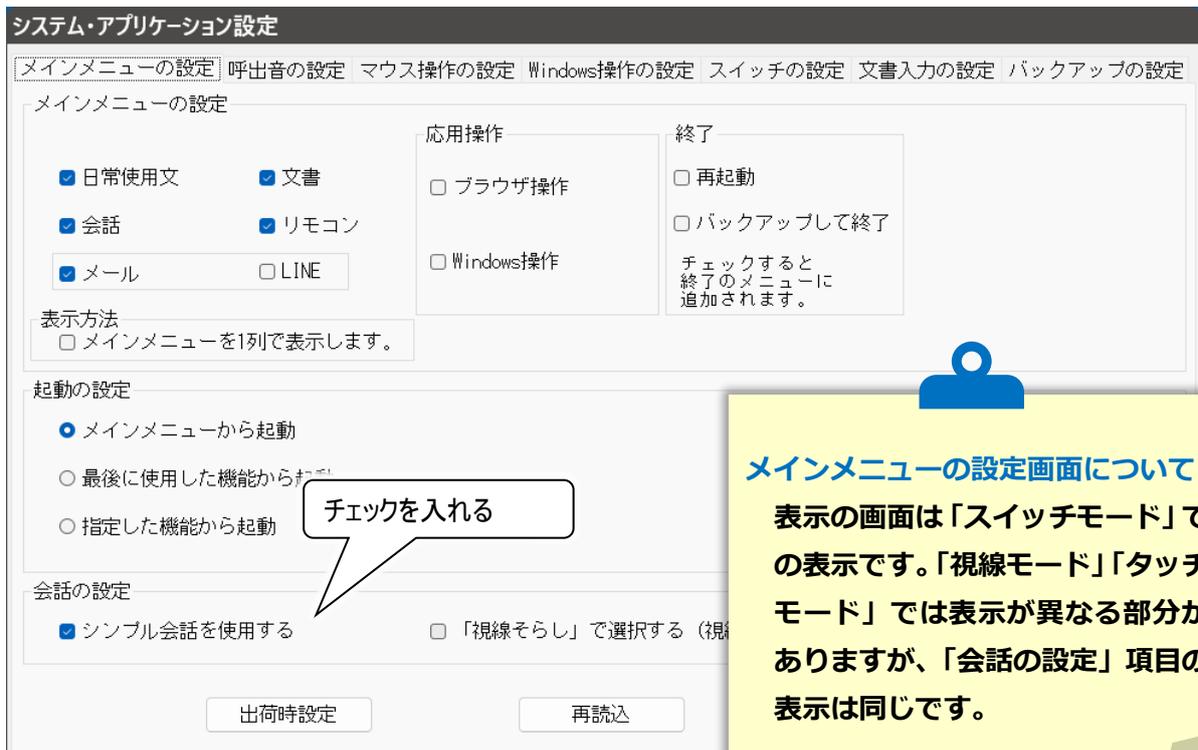
シンプル文字盤を使えるようにします

(1) 「伝の心」の「支援者用設定」から、「システム・アプリケーション設定」を選択します。



※視線モードの使用する場合、支援者用設定画面は「支援者用設定」ボタンを [Ctrl] キーを押下しながらマウスでクリックしないと、表示されません。

(2) 「システム・アプリケーション設定」画面の「メインメニューの設定」タブにおいて、「会話の設定」項目の「シンプル会話を使用する」にチェックを入れます。



(3) **決定** ボタンをクリックし、表示された確認メッセージで**はい**をクリックします。



(4) 設定はこれで終わりです。**終了** ボタンをクリックして画面を閉じます。

(5) 支援者用設定画面を閉じて「伝の心」に戻り、「会話」を選択してみましょう。
シンプル会話画面とシンプル文字盤が表示されます。



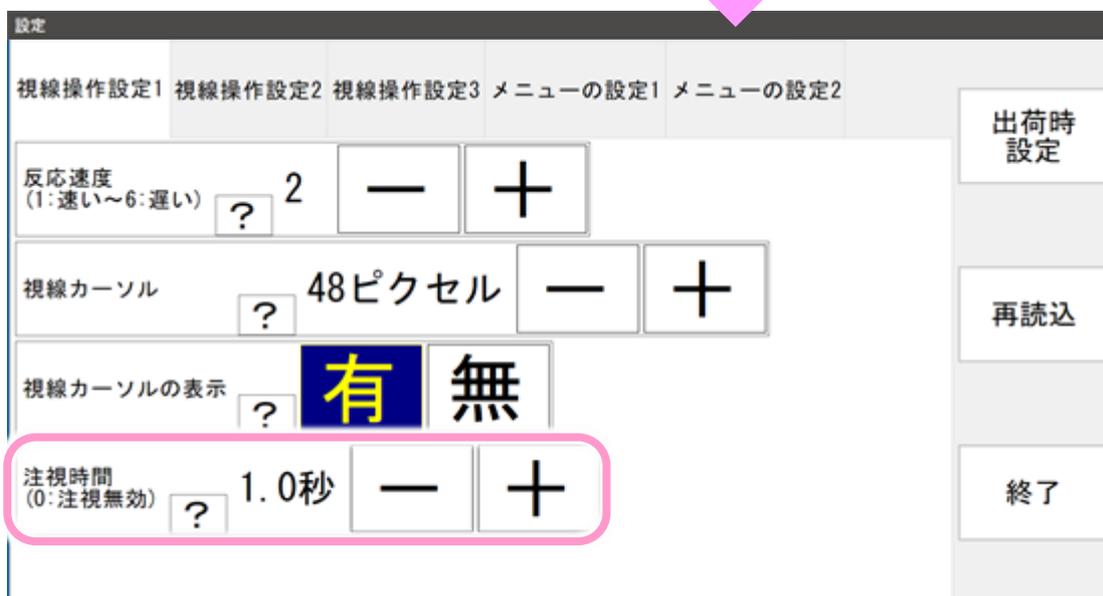
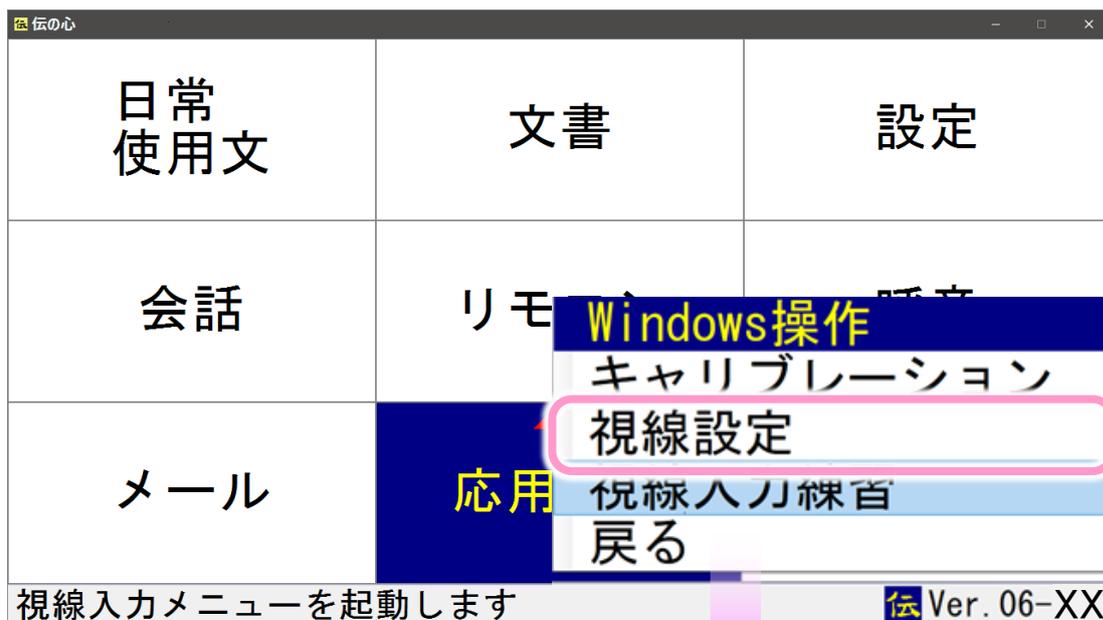
視線モードで使用する場合の追加設定

シンプル文字盤の移動速度(スキャン速度)と視線カーソルの入力までの時間(注視時間)が適当でないと、選びたいボタンがうまく選択できません。

スキャン速度は注視時間より遅めに設定しましょう。

注視時間の設定

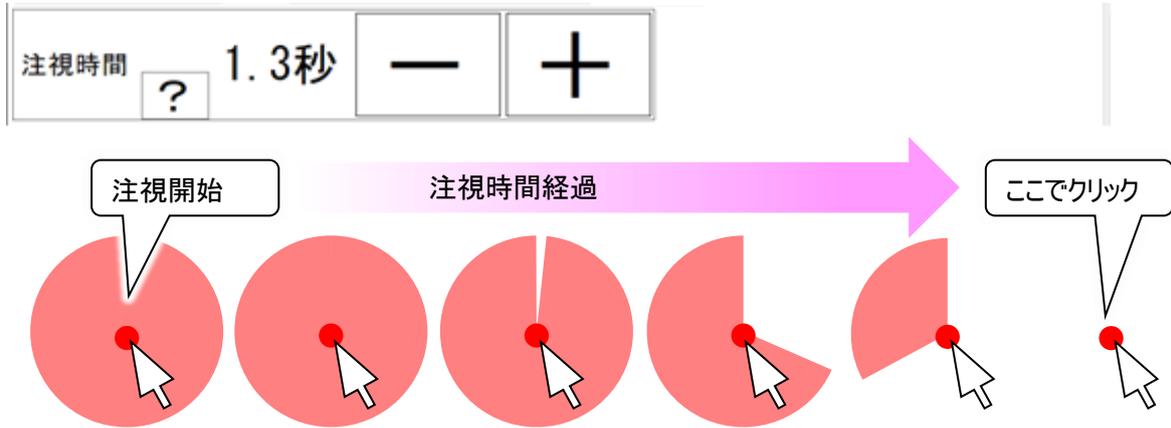
(1) 伝の心のメインメニューから[応用操作]→[視線設定]から、視線入力の設定画面を表示します。



- (2) 「視線操作設定 1」のページの「注視時間」で設定します。
注視時間は、0～3.0 秒まで変更可能です。(出荷時の設定は 1.3 秒です。)

- ⊕: 注視時間を 0.1 秒プラス(遅く)します。
⊖: 注視時間を 0.1 秒マイナス(早く)します。

※0 秒に設定すると、注視無効になります。スイッチ併用時の初期設定となります。



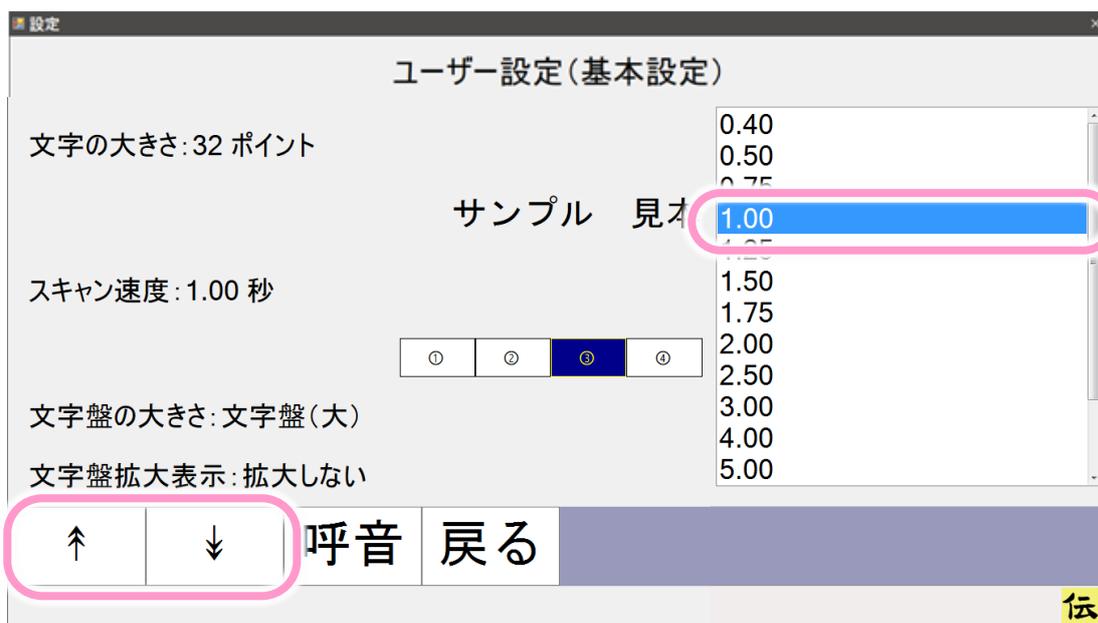
スキャン速度の設定

注視時間に合わせてスキャン速度を設定します。

- (1) まず「伝の心」の「基本設定」から、「速度」を選択します。



- (2) スキャン速度選択画面の右側にはスキャン速度選択リストが表示されます。
スキャン速度選択画面のメニューの[↑]または[↓]を選択してスキャン速度選択リストの反転表示行を設定したいスキャン速度に合わせます。



- (3) 注視時間より早い速度に設定すると、シンプル文字盤での操作はできません。
注視時間の 2～3 倍程度の時間を設定しましょう。

注視時間が 1.3 秒の場合、スキャン速度は 3 秒くらいがお勧めです。

- (4) 設定したスキャン速度でシンプル文字盤の操作が難しい場合は、スキャン速度をもう少し遅くするなど、**スキャン速度で調整してください。**

シンプル文字盤を使う（基本編）

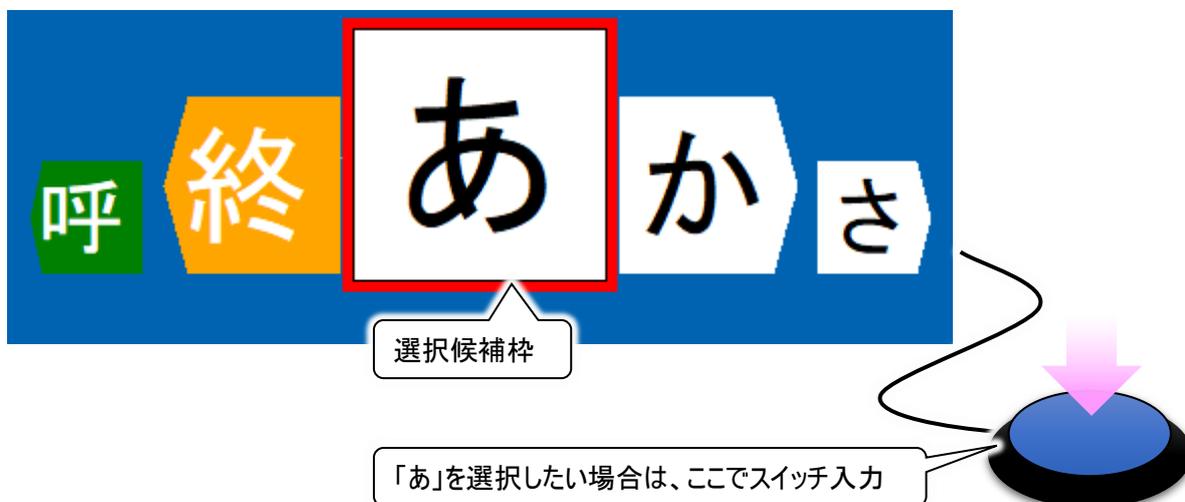
スイッチモードでの使い方

選択候補枠に入った文字をスイッチで選択するだけです

(1) シンプル文字盤は、文字盤が右から左に動いていきます。



(2) 入力したい文字が選択候補枠に入ったら、スイッチ入力します。



(3) 下記は「あ」を入力する一例です。

「あ・か・さ・た・な・は・ま・や・ら・わ・削・機・呼・終」の移動

「あ」を選択して
「あ・い・う・え・お・削・機・呼・戻」の移動に切替

「あ」を選択して
「あ・あ・戻」の移動に切替

「あ」を選択して
文字入力

小文字について
小文字には「 」下線を付けて分かりやすく表示しています。
入力の際は、下線は入力されません。

反転表示について
実際に入力される文字候補は反転表示（青背景・黄色文字）で表示されます。それ以外は文字盤の切替や削除などの機能ボタンとなります。

(4) 文字が入力されたら、最初の文字盤メニュー「あ・か・さ・た・な・は・ま・や・ら・わ・削・機・呼・終」の移動に戻ります。

※文字盤の各ボタンの機能については、29 ページの「文字盤の機能一覧」を参照ください。

タッチモードでの使い方

選択候補枠に入った文字をマウスでクリックするだけです

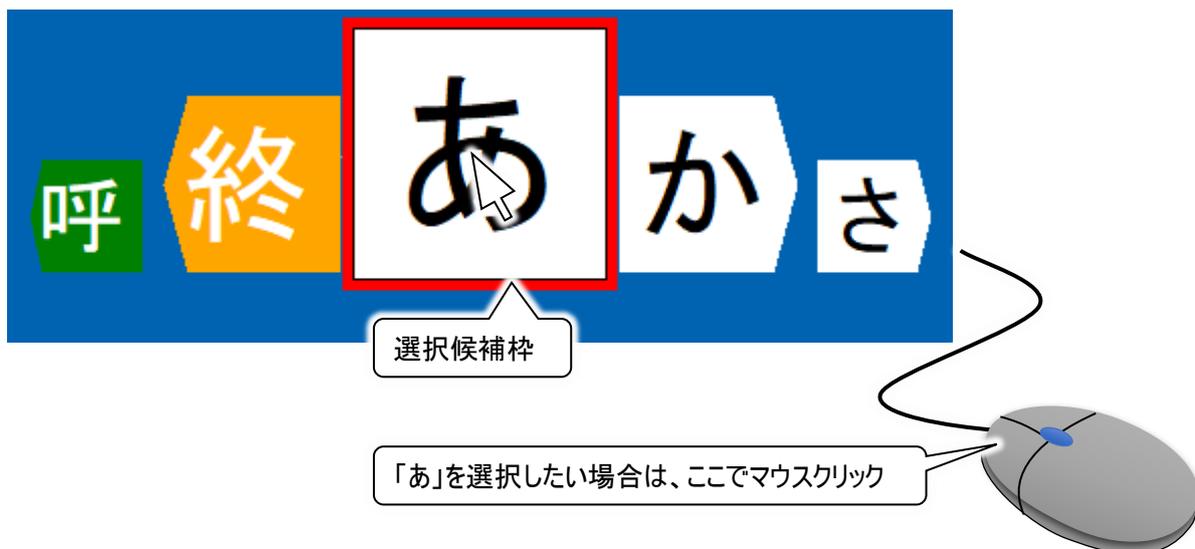
(1) シンプル文字盤は、文字盤が右から左に動いていきます。



(2) マウスポインターは、選択候補枠の中に移動しておきます。



(3) 入力したい文字が選択候補枠に入ったら、マウスクリックします。



(4) 下記は「あ」を入力する一例です。

The diagram illustrates the process of inputting the character 'あ' in three stages, connected by downward arrows:

- Stage 1:** The character 'あ' is selected from a list of candidates: 呼, 終, あ, か, さ. A callout box indicates the movement: "「あ・か・さ・た・な・は・ま・や・ら・わ・削・機・呼・終」の移動".
- Stage 2:** The character 'あ' is selected from a list of candidates: 呼, 戻, あ, い, う. A callout box indicates the movement: "「あ」を選択して「あ・い・う・え・お・削・機・呼・戻」の移動に切替".
- Stage 3:** The character 'あ' is selected from a list of candidates: あ, 戻, あ, 戻. A callout box indicates the movement: "「あ」を選択して「あ・あ・戻」の移動に切替".

The final result is the character 'あ' being input into a text field.

小文字について
小文字には「_」下線を付けて分かりやすく表示しています。
入力の際は、下線は入力されません。

反転表示について
実際に入力される文字候補は反転表示(青背景・黄色文字)で表示されます。それ以外は文字盤の切替や削除などの機能ボタンとなります。

- (5) 文字が入力されたら、最初の文字盤「あ・か・さ・た・な・は・ま・や・ら・わ・削・機・呼・終」の移動に戻ります。



※文字盤の各ボタンの機能については、29 ページの「文字盤の機能一覧」を参照ください。

視線モードでの使い方

選択候補枠に入った文字を注視するだけです

(1) シンプル文字盤は、文字盤が右から左に動いていきます。



(2) 視線カーソルは、選択候補枠の右側の次候補位置に移動しておきます。

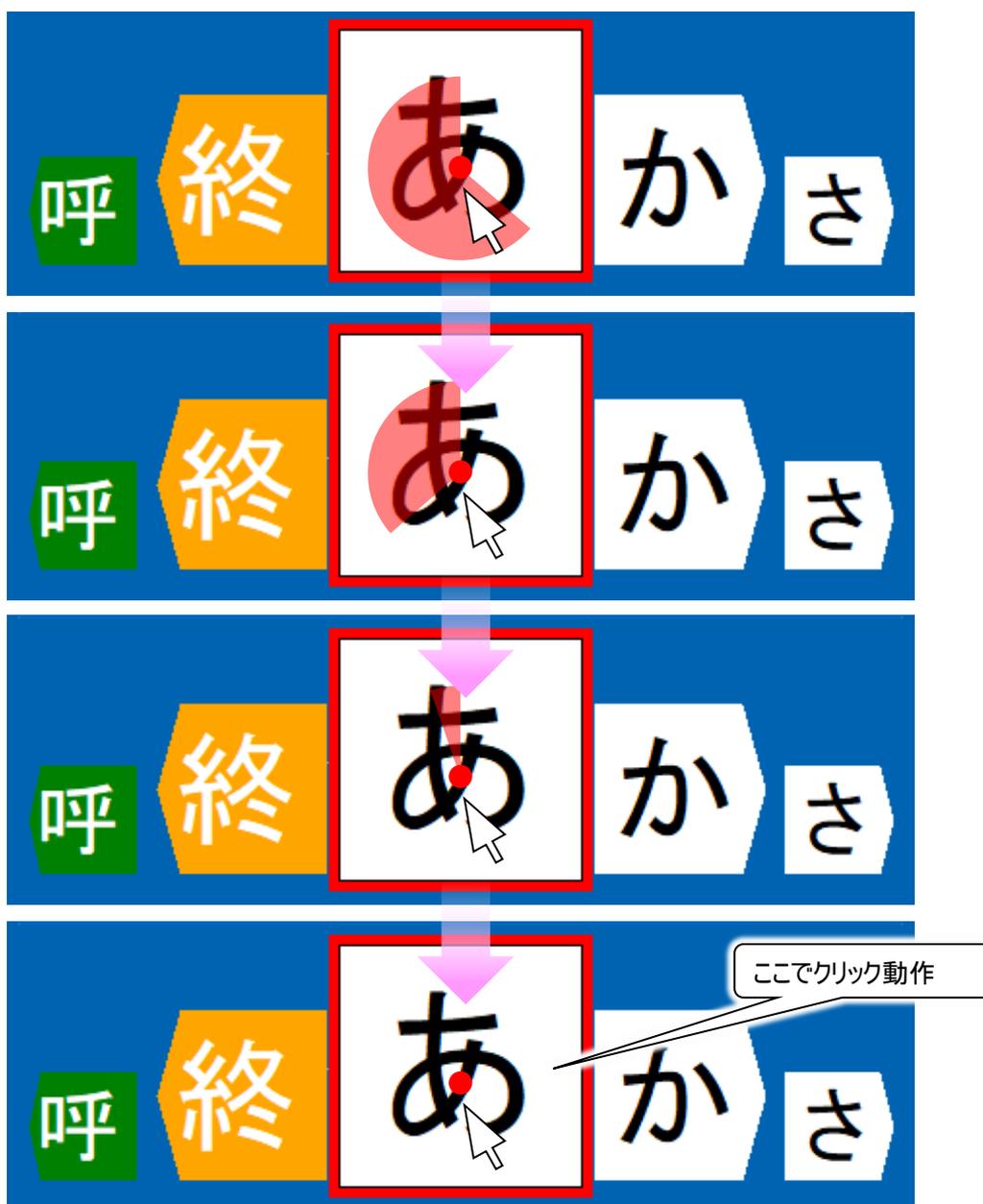


※視線カーソルの円の大きさや色は設定で変更可能です。また、円を非表示にすることも可能です。詳細は「視線入力オプション取扱説明書」を参照ください。

- (3) 入力したい文字が次候補位置に入ったら、文字の移動に合わせて、視線（視線カーソル）を選択候補枠に移動します。



- (4) 視線カーソルが選択候補枠内に一定時間留まっていると、マウスポインターの周りの色付きの円が時計回りに消えていき、円が消えた時にクリック動作が行われ、選択候補枠内の文字が入力または選択されます。



(5) 下記は「あ」を入力する一例です。



※視線カーソルの設定の詳細は「視線入力オプション取扱説明書」を参照ください。

※文字盤の各ボタンの機能については、29 ページの「文字盤の機能一覧」を参照ください。

※なんでもスイッチを併用する場合

スイッチ入力でマウスクリック動作が行われますので、マウスポインターの周りの色付きの円が消える前にクリック動作を行うことができます。

色付きの円が消え始めていなくても同様です。

初期設定は注視無効となっていますので、色付きの円は消えません。

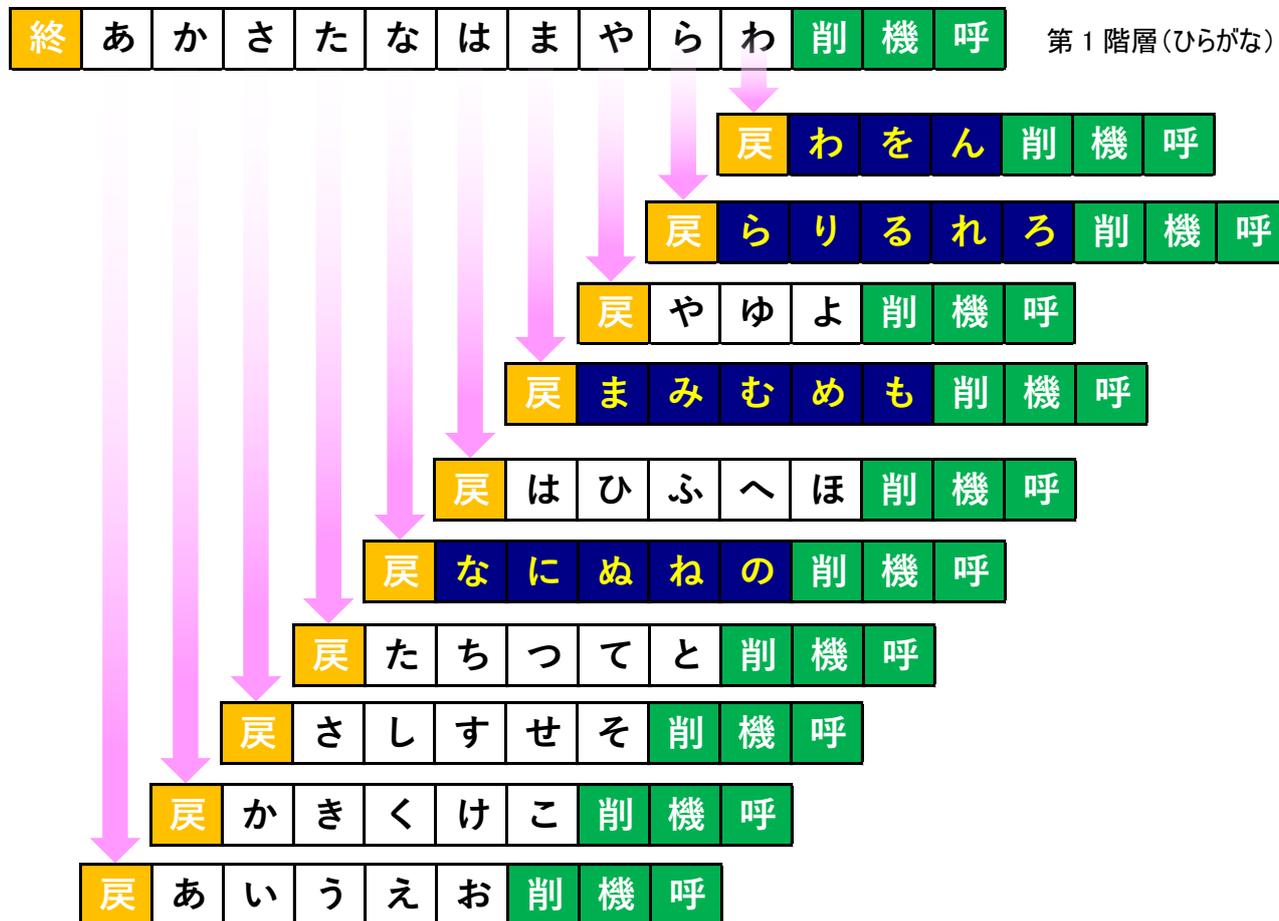
注視でもクリックさせたい場合は、15 ページの「注視時間の設定」を参照して設定を変更してください。

シンプル文字盤を使う（詳細編）

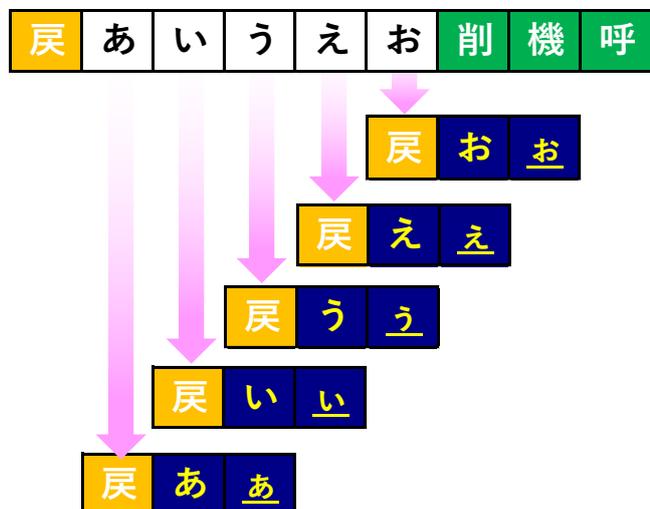
文字盤の機能一覧

文字盤の遷移

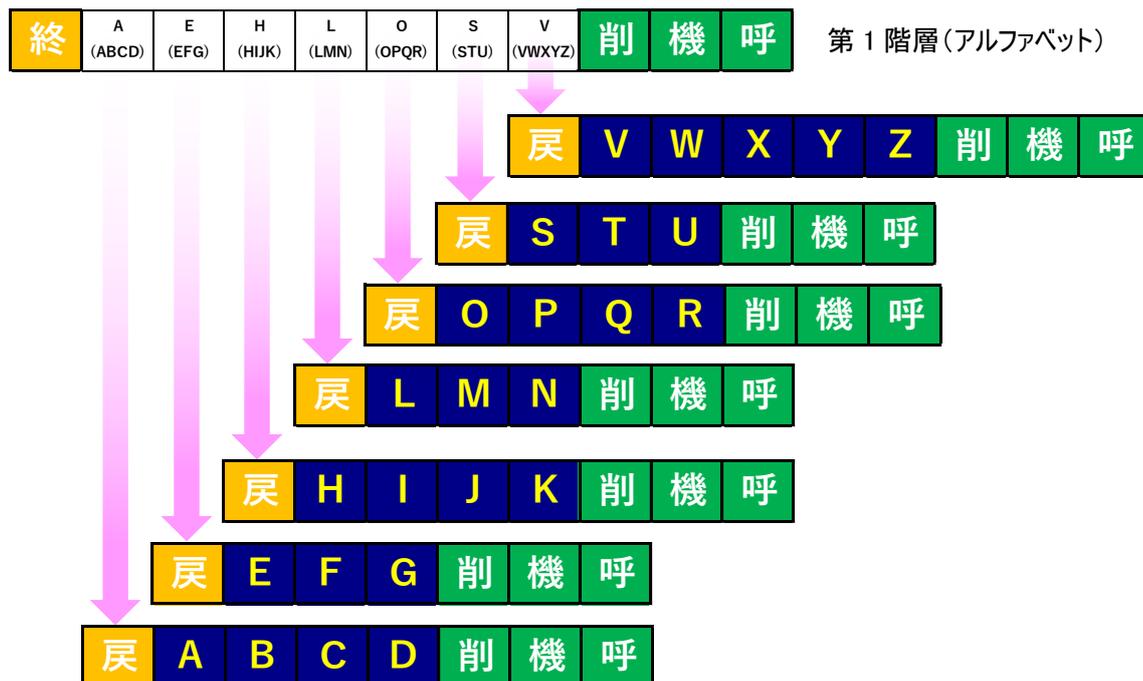
第1階層（ひらがな）→第2階層



第2階層（あ行）→第3階層



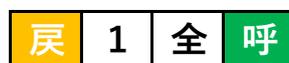
第1階層 (アルファベット) →第2階層



機能メニュー **機**



削除メニュー **削**



機能ボタンの動作（緑色ボタン）

機

機

「機」で表示される機能ボタンは文字盤の第 1 階層、第 2 階層のメニュー、すべてにあります。このボタンから、文字入力以外の機能への切り替えが可能です。

盤

盤

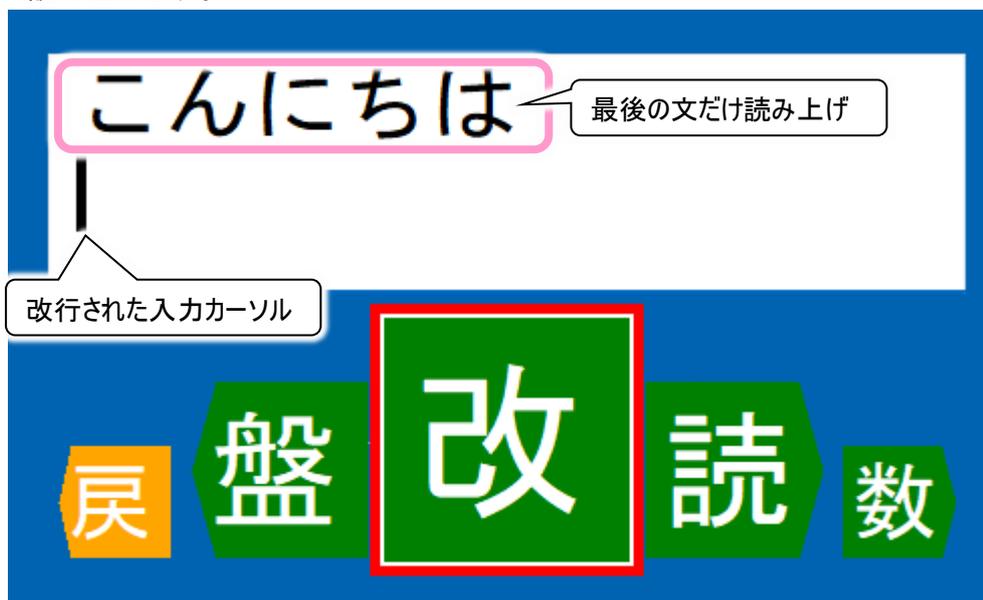
ボタンを選択すると、ひらがな文字盤とアルファベット文字盤の切り替えを行います。ボタンを選択する度にひらがな文字盤とアルファベット文字盤を交互に切り替えます。切り替えた後は、第 1 階層の表示に切り替わります。

改

改

ボタンを選択すると、入力した文章の最後の文を読み上げて、入力カーソル位置にて改行します。

※文は句点「。」または改行で区切られるので、句点「。」や改行がなければ先頭から読み上げます。



読

ボタンを選択すると、読み上げメニューに切り替えます。

読

戻

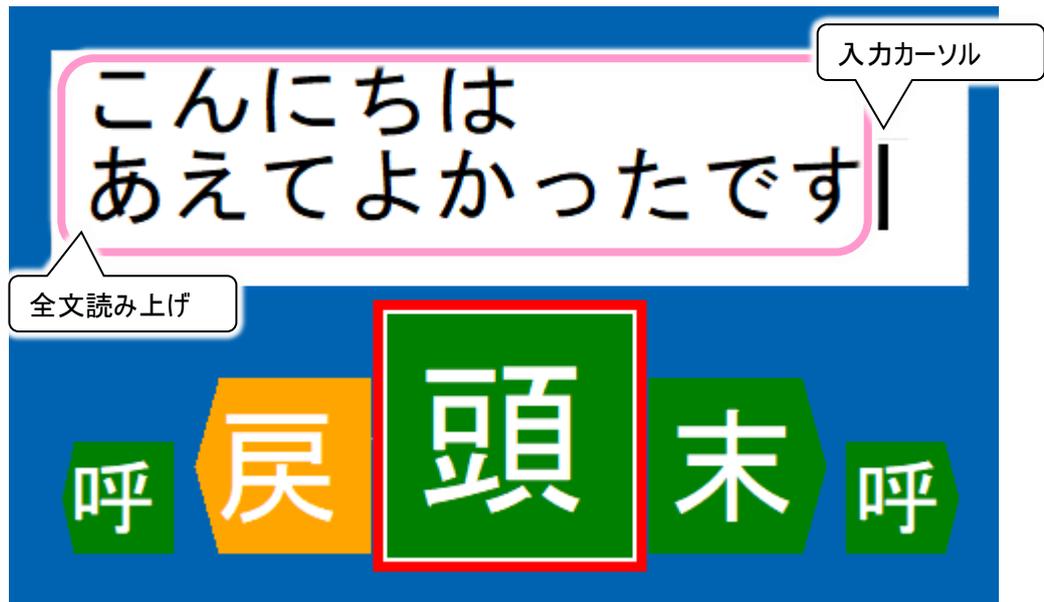
頭

末

呼

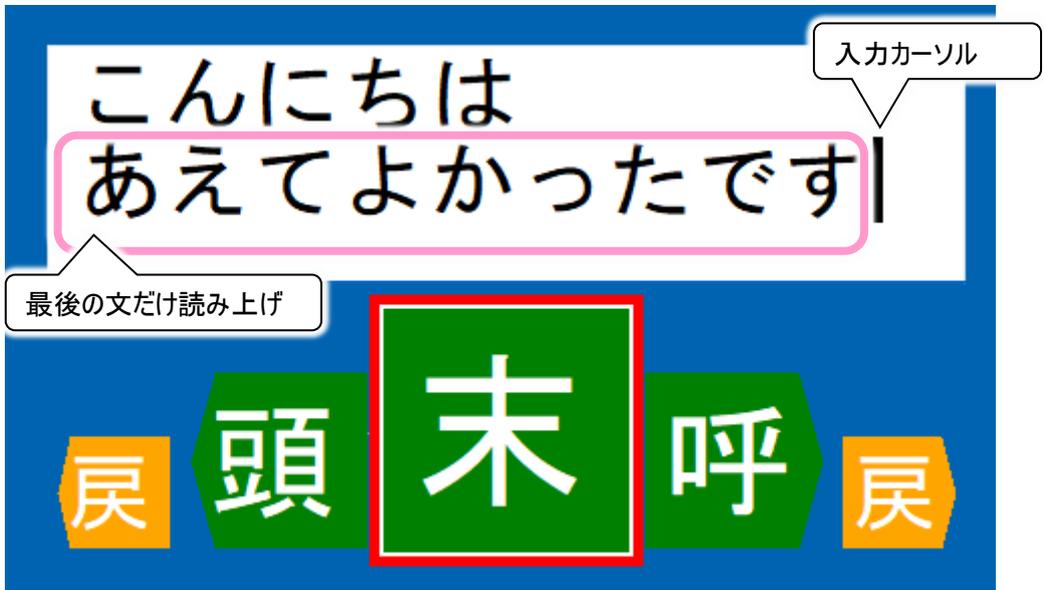
頭

読み上げメニューにて[頭]を選択すると、入力した文章の先頭から読み上げて、入力カーソルを文末まで移動します。



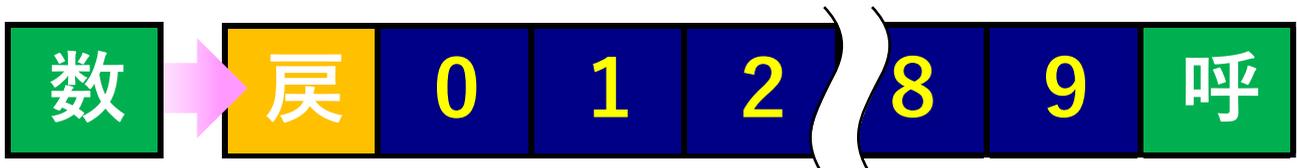
末

読み上げメニューにて[末]を選択すると、入力した文章の最後の文を読み上げて、入力カーソルを文末まで移動します。
※文は句点「。」または改行で区切られるので、句点「。」や改行がなければ先頭から読み上げます。



数

ボタンを選択すると、数字メニューに切り替えます。
数字メニューにて選択した数字が入力されます。



記

ボタンを選択すると、記号メニューに切り替えます。
記号メニューにて選択した記号が入力されます。



文

ボタンを選択すると、定型文メニューに切り替えます。
定型文メニューにて選択した定型文が入力されます。

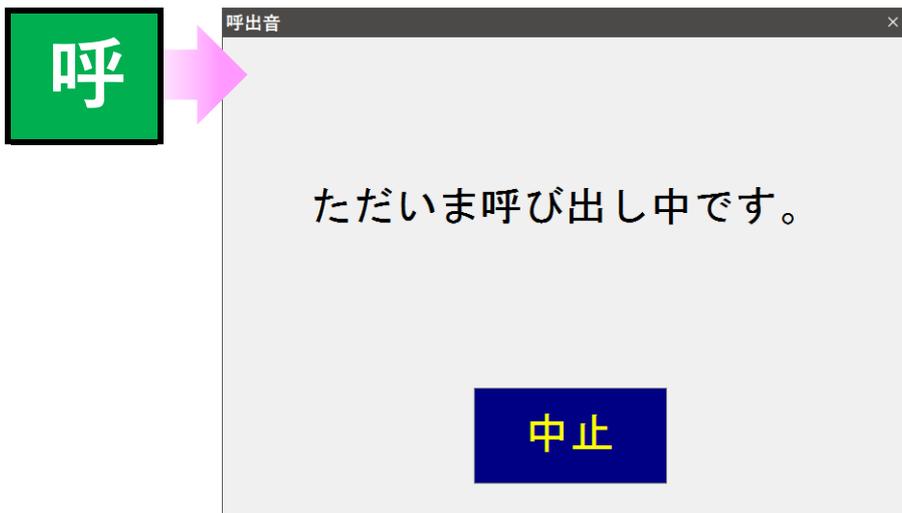


入力される文字は、下記の通りです。

YES	:YES
NO	:NO
吸引	:吸引してください
来て	:来てください

呼

ボタンを選択すると、呼音を再生します。
呼音再生中は下記メッセージ画面を表示します。
メッセージ画面の中止ボタンを選択すると、メッセージ画面を閉じます。



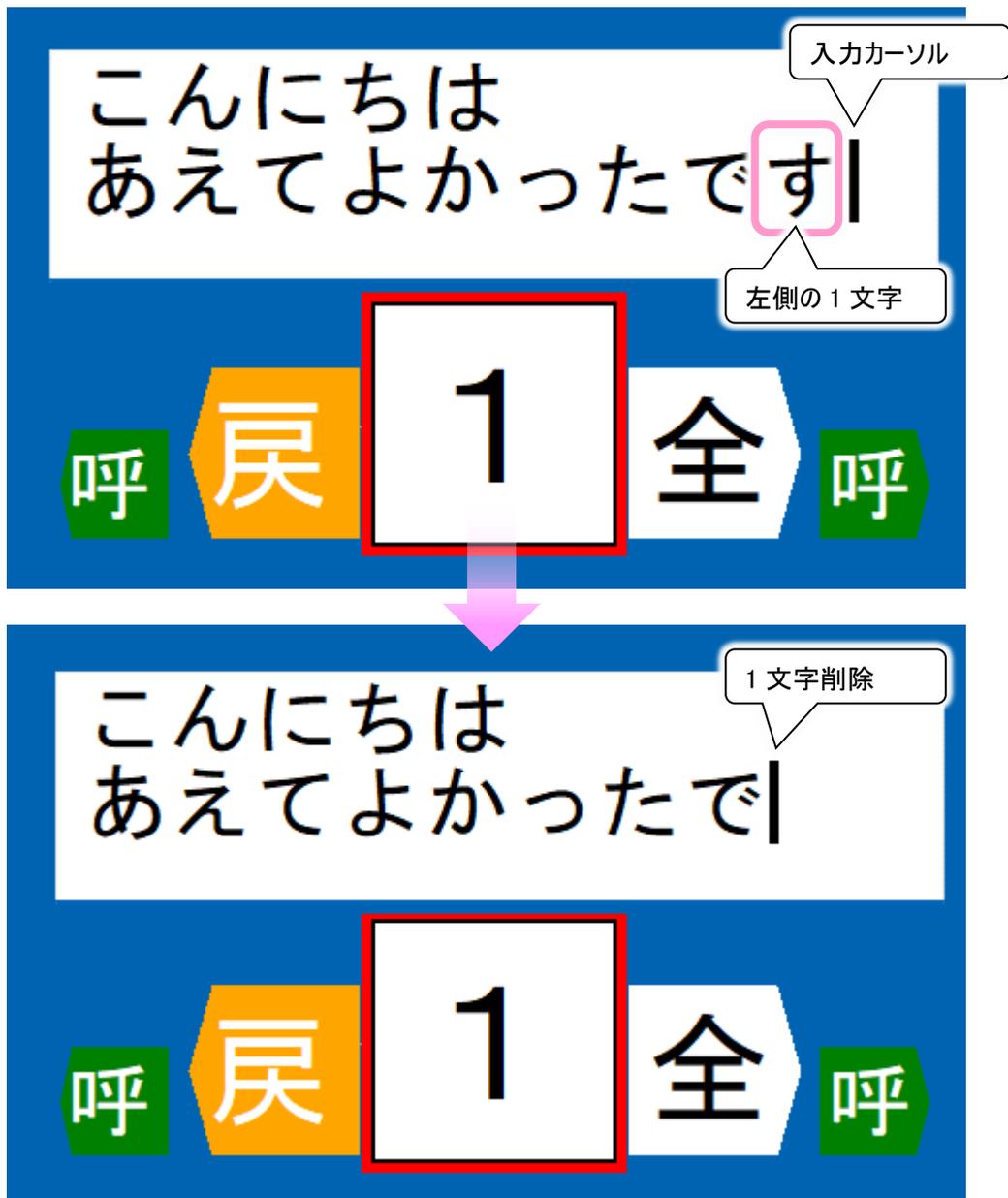
削

ボタンを選択すると、削除メニューに切り替えます。



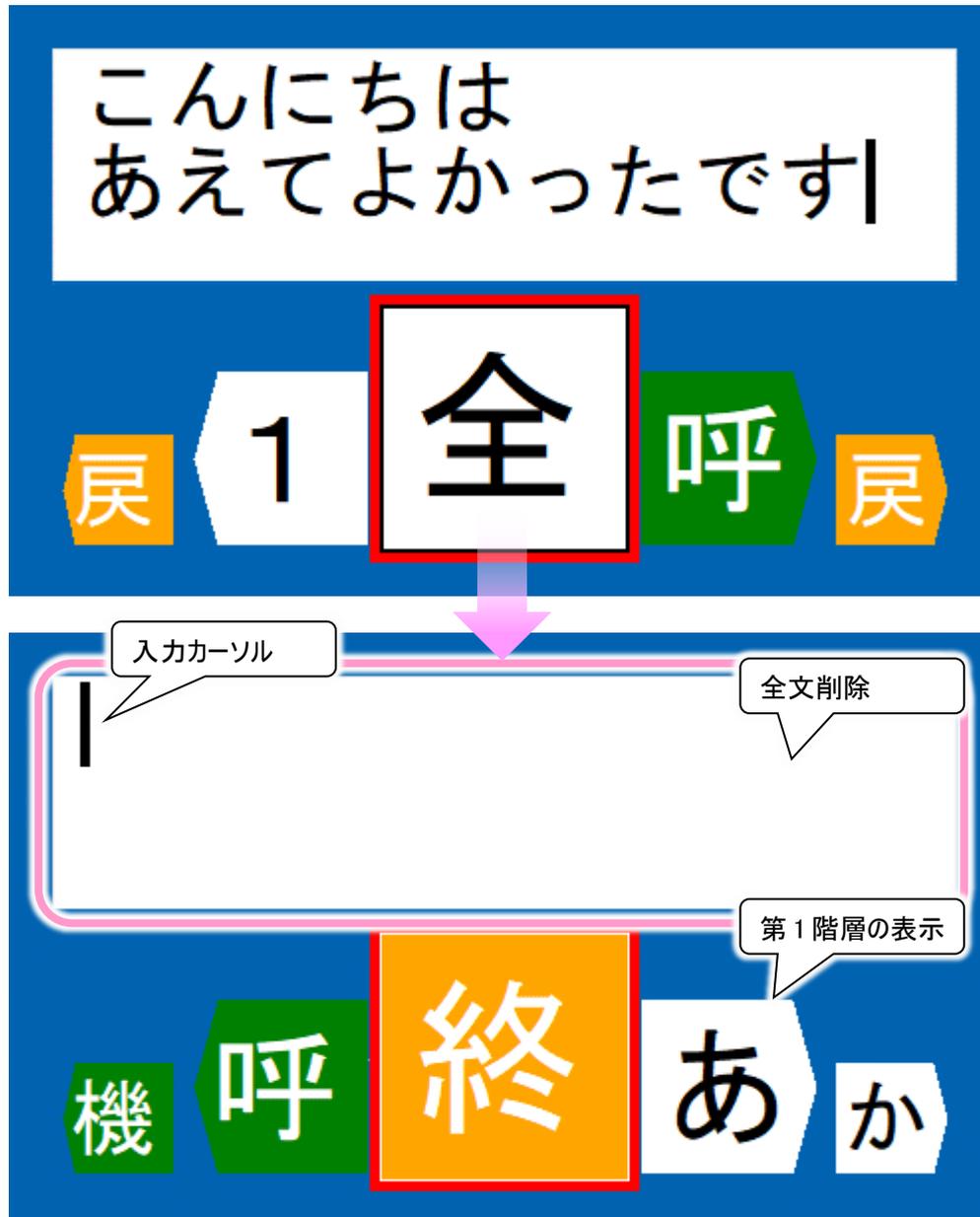
1

削除メニューにて[1]を選択すると、入力カーソルより左側の文字が 1 文字削除されます。



全

削除メニューにて[全]を選択すると、編集域の全文が削除されます。
削除された後は、第1階層の表示に切り替わります。



機能ボタンの動作（橙色ボタン）

戻

戻

ボタンを選択すると、文字盤が1つ前の階層に戻ります。
このボタンは文字盤の第1階層以外のすべての階層のメニューにあります。

終

ボタンを選択すると、終了メニューに切り替えます。
このボタンは文字盤の第1階層のメニューのみにあります。

終

キャン
セル

会話
終了

電源
断

キャン
セル

ボタンを選択すると、第1階層の表示に戻ります。

会話
終了

ボタンを選択すると、確認メニューに切り替えます。
このボタンは終了メニューのみにあります。

会話
終了

いいえ

はい

いいえ

ボタンを選択すると、第1階層の表示に戻ります。

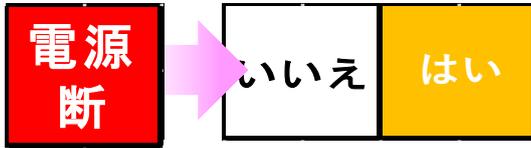
はい

ボタンを選択すると、シンプル会話画面を閉じて、「伝の心」メインメニューに戻ります。

機能ボタンの動作（赤色ボタン）

電源
断

ボタンを選択すると、確認メニューに切り替えます。
このボタンは終了メニューのみにあります。



いいえ

ボタンを選択すると、第 1 階層の表示に戻ります。

はい

ボタンを選択すると、シンプル会話画面を閉じて、「伝の心」を終了し、システム装置の電源を切ります。

各モードに特化した使い方

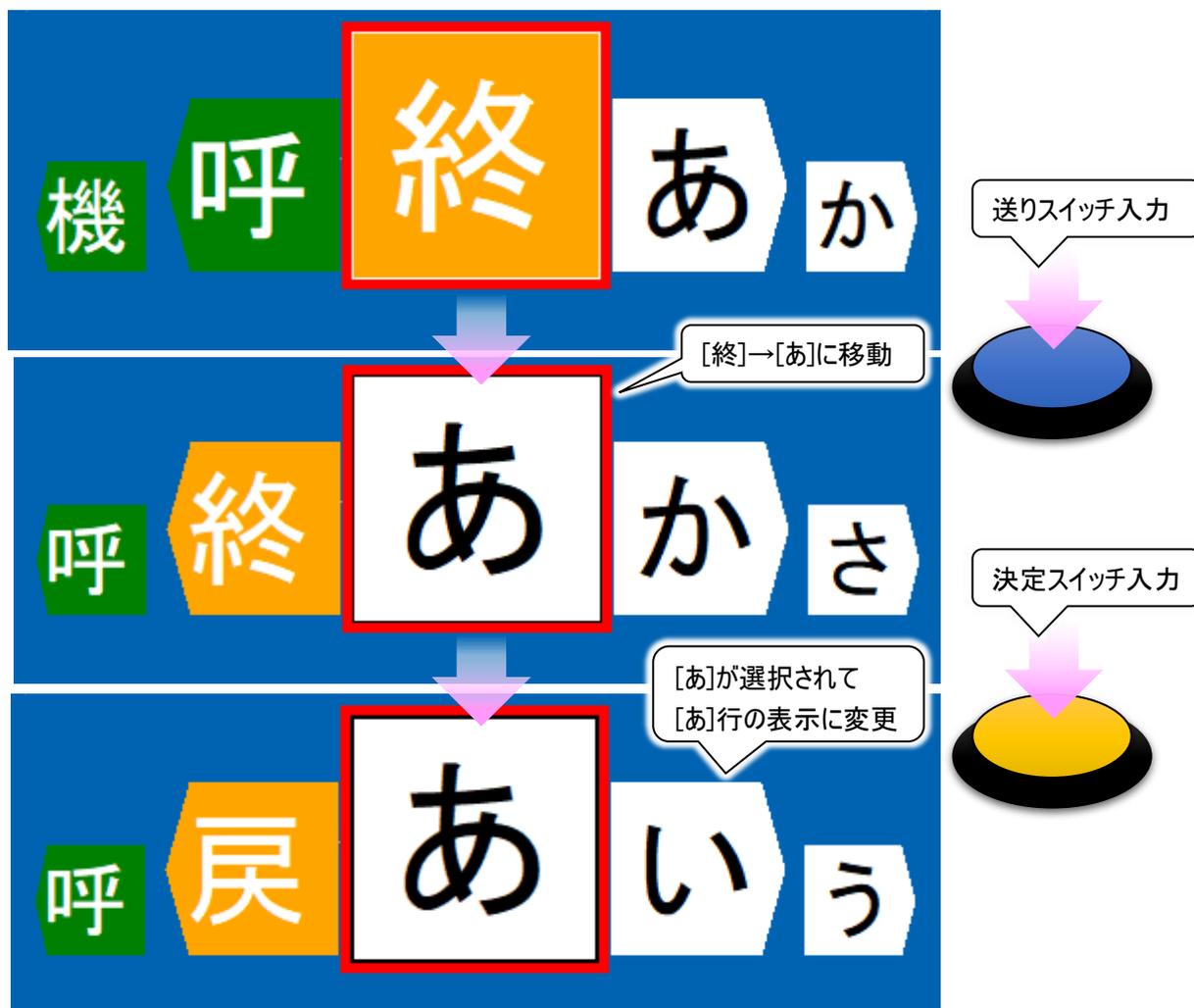
スイッチモード

2点スイッチ

スイッチモードでは2点スイッチの設定を行うと、シンプル文字盤でも「決定スイッチ」と「送りスイッチ」の機能が使用できます。

※2点スイッチの設定は「伝の心」取扱説明書を参照ください。

シンプル文字盤は、「送りスイッチ」で右から左に順次動かしていき、「決定スイッチ」で選択候補枠の選択を行い、操作します。



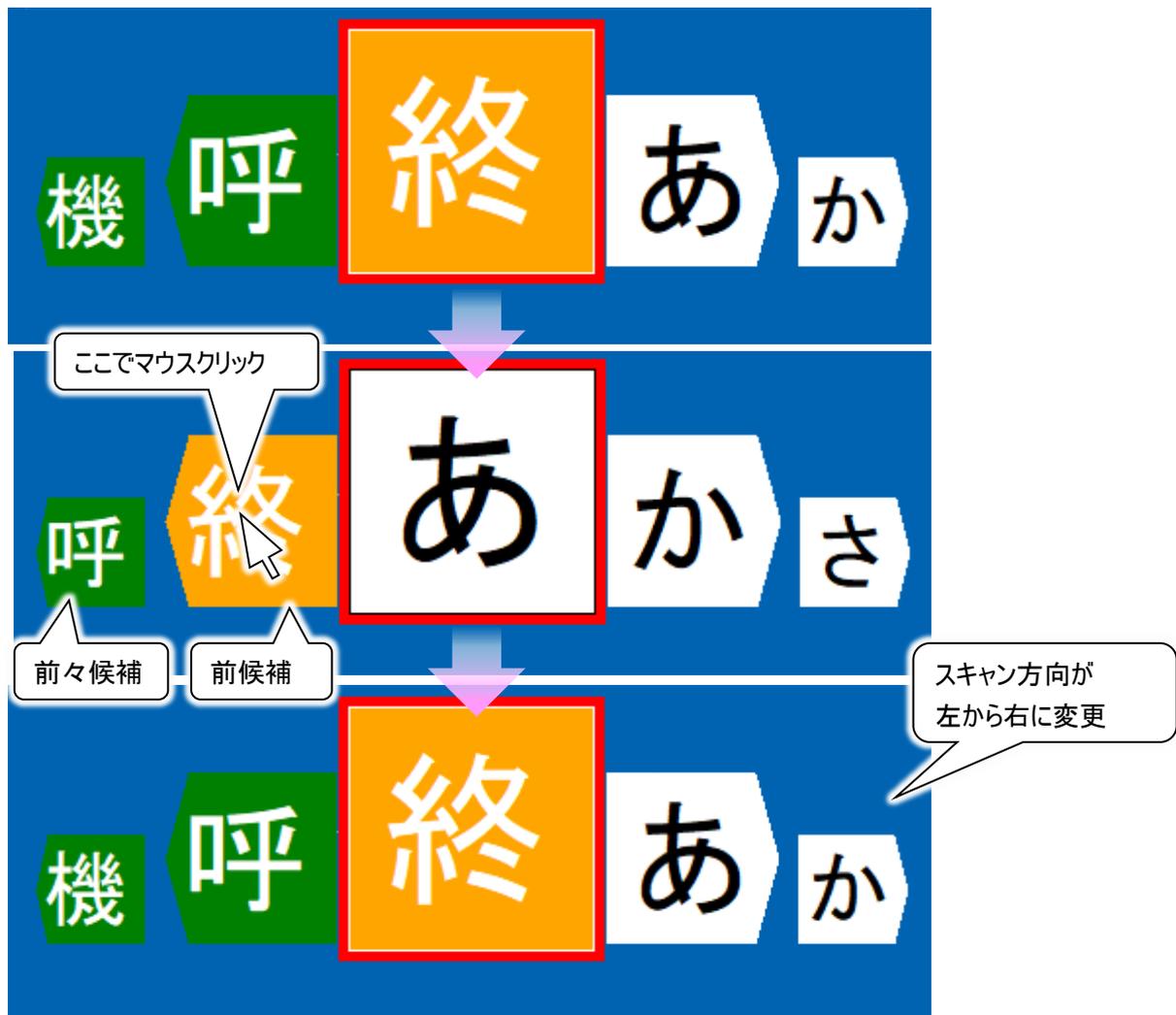
※まばたきスイッチをご利用の場合は、2点スイッチの設定は使用できません。

タッチモード

スキャン方向の反転

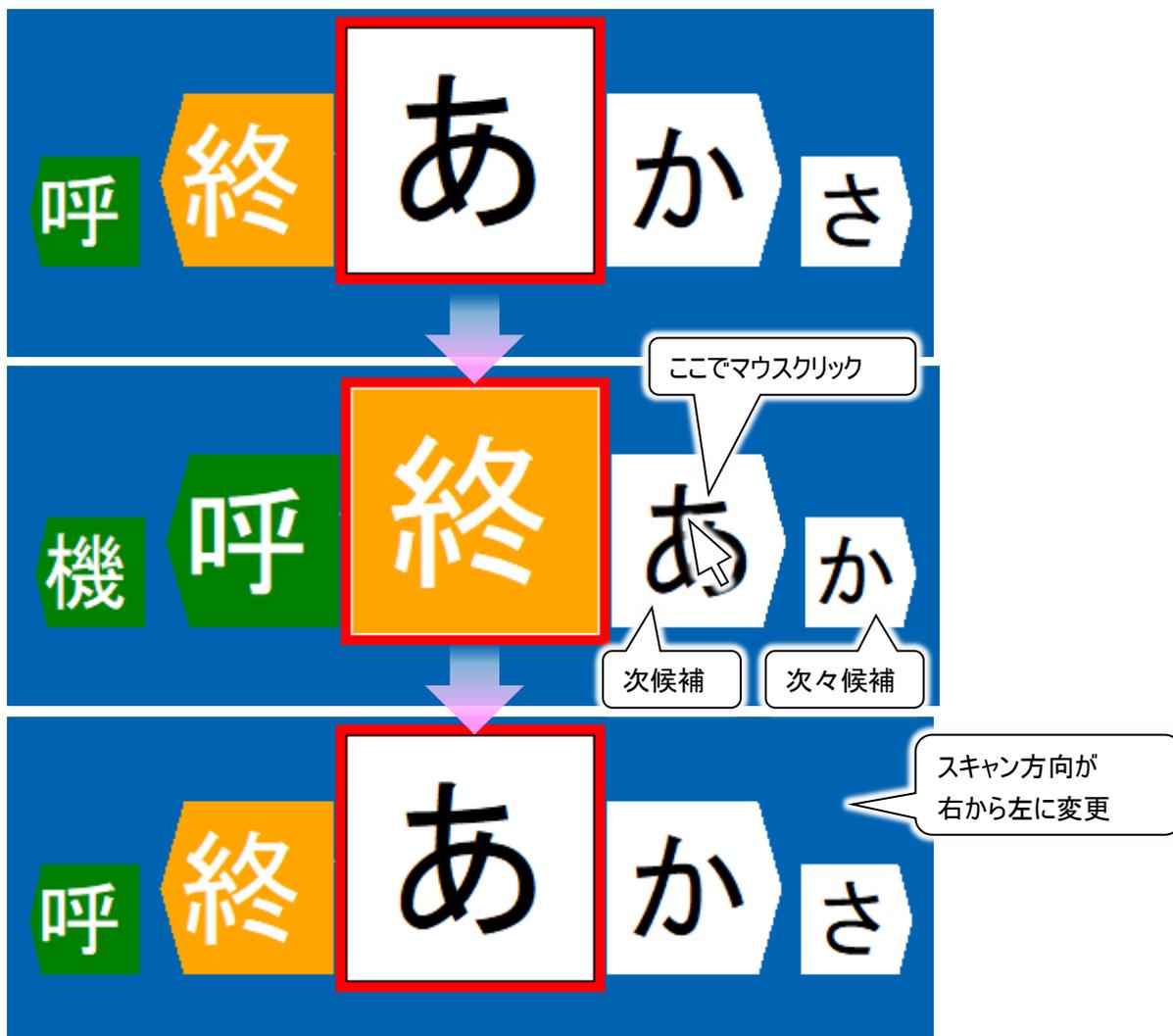
- (1) シンプル文字盤は、文字盤が右から左に動いていきますが、前候補または前々候補をクリックすると、文字盤の移動が左から右に変更されます。

※元々左から右に動いている場合は、変更されません。



(2) 逆に、文字盤が左から右に動いている時に、次候補または次々候補をクリックすると、文字盤の移動が右から左に変更されます。

※元々右から左に動いている場合は、変更されません。



※スキャン方向の反転は、「スイッチモード」ではできません。

スキャン方向の反転

- (1) シンプル文字盤は、文字盤が右から左に動いている時、前候補または前々候補に視線カーソルを移動しクリック動作が行われると、文字盤の移動が左から右に変更されます。

※元々左から右に動いている場合は、変更されません。

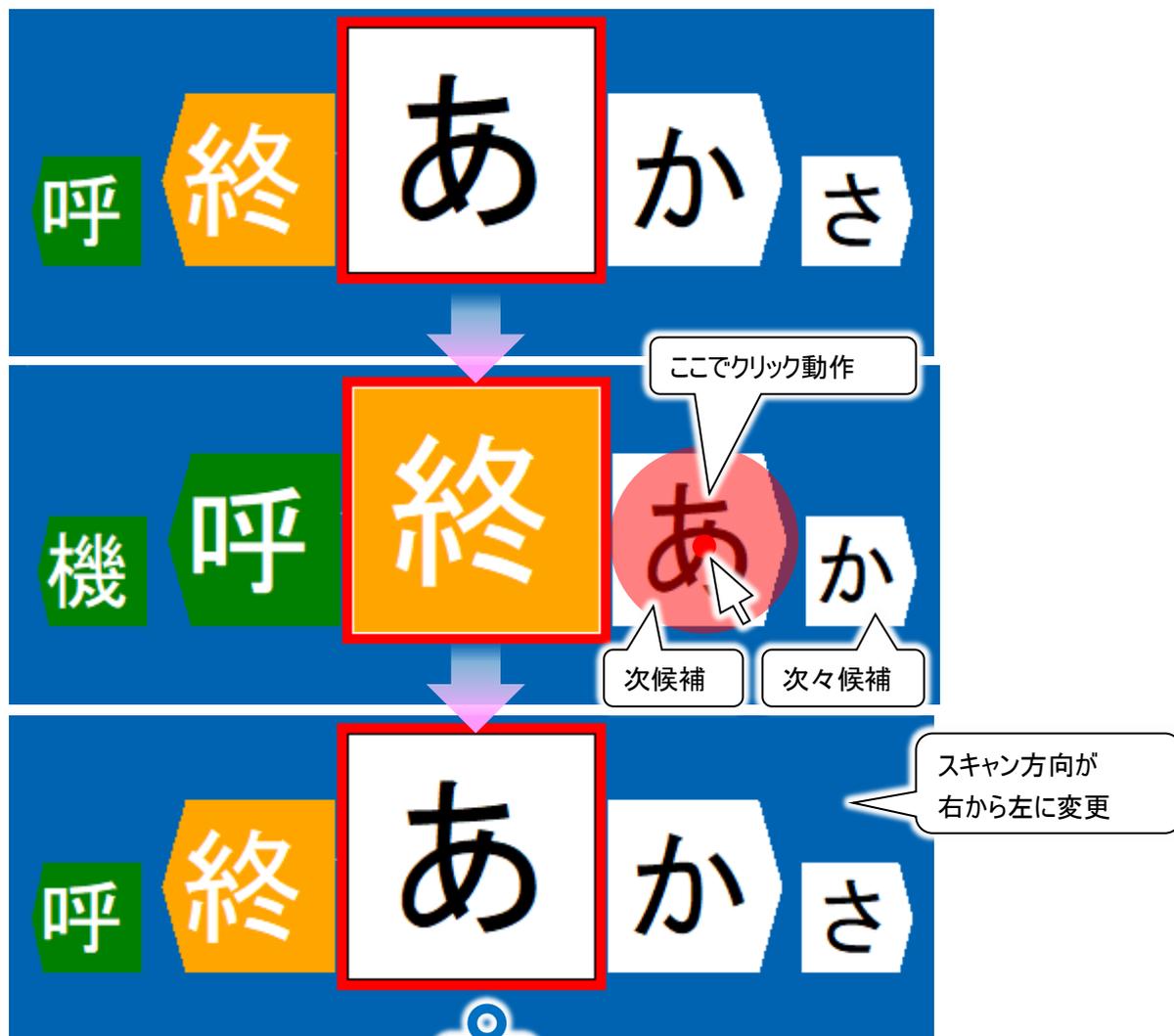


視線カーソルの待機位置の変更

文字盤の移動を左から右に移動するように変更した場合は、入力したい文字を待つ視線カーソルの待機位置も前候補の位置に変更になります。

- (2) 逆に、文字盤が左から右に動いている時に、次候補または次々候補でクリック動作が行われると、文字盤の移動が右から左に変更されます。

※元々右から左に動いている場合は、変更されません。



視線カーソルの待機位置の変更

文字盤の移動を右から左に移動するように変更した場合は、入力したい文字を待つ視線カーソルの待機位置も次候補の位置に変更になります。

※スキャン方向の反転は、「スイッチモード」ではできません。

※視線入力オプションとして、「まばたきスイッチ」を使用する場合も、「スイッチモード」と同じ使用方法をするので、スキャン方向の反転はできません。

「視線そらし」を使う

「システム・アプリケーション設定」画面の「メインメニューの設定」タブにおいて、「会話の設定」項目の「視線そらし」で選択する」にチェックを入れると使用できる使い方です。

「視線そらし」とは

注視している項目から視線を外した（そらした）時に決定動作を行います。

シンプル会話でのみ有効です。

(1) まず設定を行います。

13 ページの「シンプル文字盤を使えるようにします」を参照して、「システム・アプリケーション設定」を表示します。

(2) 「システム・アプリケーション設定」画面の「メインメニューの設定」タブにおいて、「会話の設定」項目の「シンプル会話を使用する」と「視線そらし」で選択する」にチェックを入れます。

The screenshot shows the 'システム・アプリケーション設定' (System Application Settings) window. The 'メインメニューの設定' (Main Menu Settings) tab is active. Under '会話の設定' (Conversation Settings), the following options are checked:

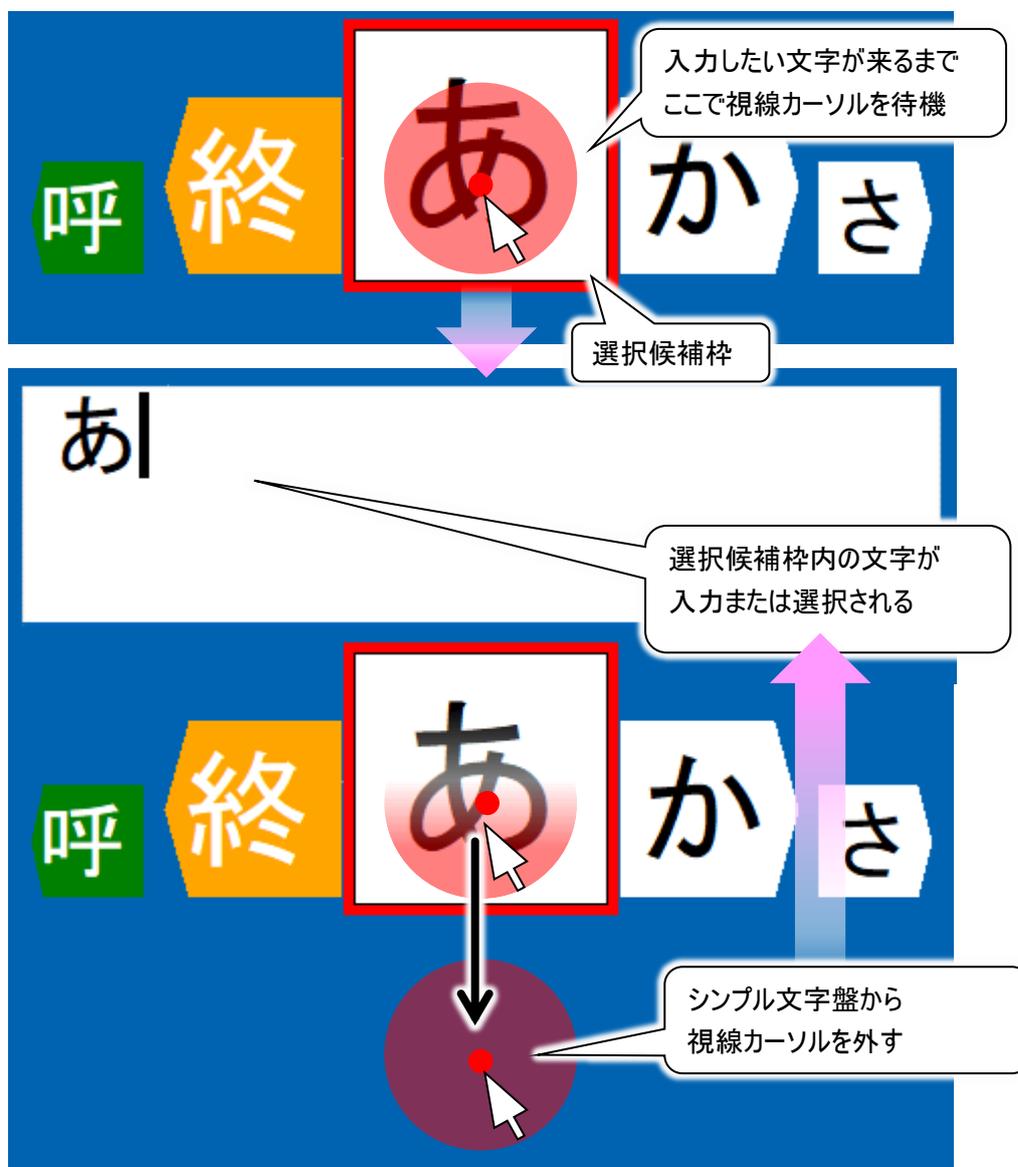
- シンプル会話を使用する
- 「視線そらし」で選択する（視線入力を有効にしてください）

A callout box with the text '両方チェックを入れる' (Check both) points to these two checked options. Other settings visible include '日常使用文', '文書', '会話', 'リモコン', 'メール', 'LINE', '応用操作' (with 'キャリブレーション', '視線入力練習', 'Windows操作' checked), and '終了' (with '再起動', 'バックアップして終了' unchecked). Buttons at the bottom include '出荷時設定', '再読込', '決定', and '終了'.

(3) 13 ページの「シンプル文字盤を使えるようにします」を参照して、設定を終了し、シンプル会話を表示します。

- (4) 「視線そらし」を使う場合は、視線カーソルが選択候補枠内に一定時間(注視時間)留まってもクリック動作は行われません。

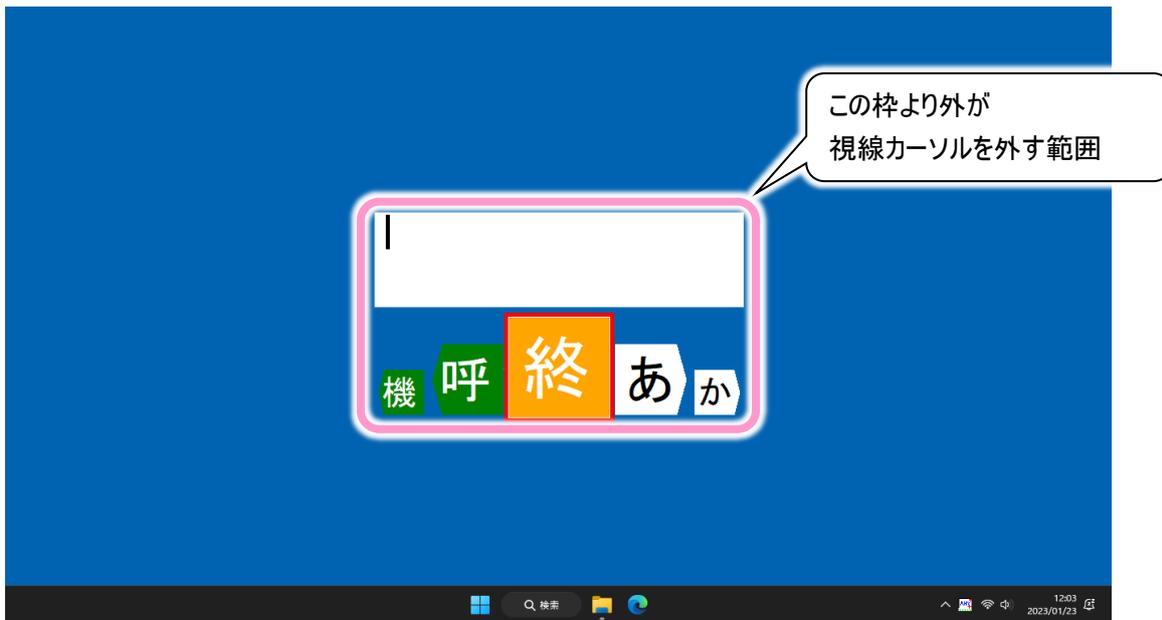
選択候補枠内に視線カーソルを移動しておき、入力したい文字が選択候補枠に入ったら、視線カーソルをシンプル会話から外すと、選択候補枠内の文字が入力または選択されます。



※なんでもスイッチを併用する場合

「視線そらし」でシンプル文字盤を使用する場合は、シンプル会話画面ではスイッチ入力は無効になります。

(5) 視線カーソルを外す範囲は、下記□で囲まれたシンプル会話画面の外になります。

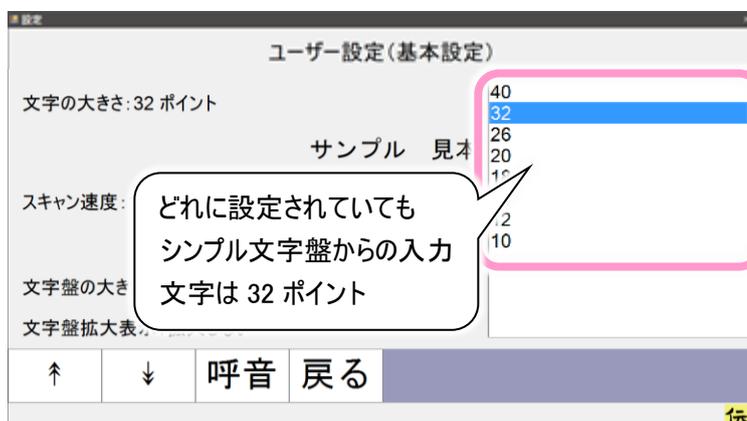


制限事項

シンプル文字盤を使用する上で、下記制限事項があります。

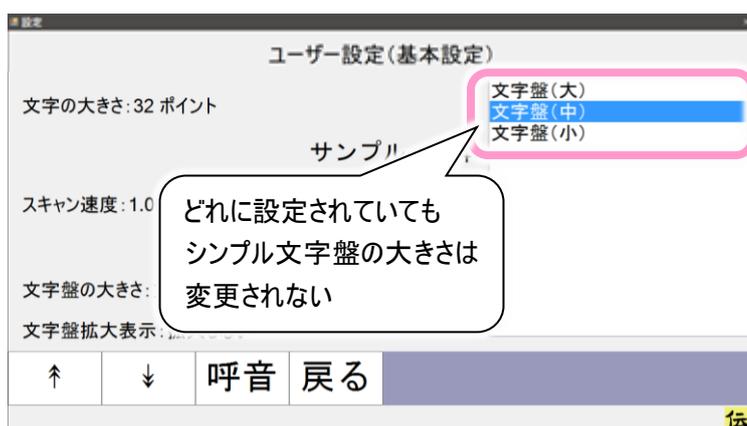
文字の大きさについて

基本設定において、文字の大きさを変更しても、シンプル文字盤の入力文字は 32 ポイント固定です。



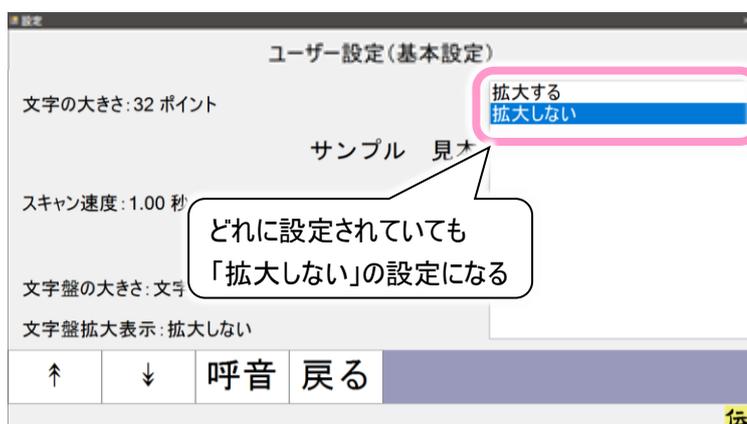
文字盤の大きさについて

基本設定において、文字盤の大きさを変更しても、シンプル文字盤の大きさは変更されません。



文字盤の拡大表示について

基本設定において、文字盤拡大表示を「拡大する」に設定してあっても、シンプル文字盤の選択候補文字の拡大は行われません。



会話ログの保存について

シンプル会話終了時には、シンプル会話画面に表示されている文章は「会話ログ」として自動で保存されます。

ただし、会話のログとシンプル会話のログは同じファイルに追加されます。

※「会話ログ」の設定に関しては「「伝の心」取扱説明書」をご参照ください。

こんな時には

スイッチで操作ができない

「伝の心」取扱説明書の「困ったときには」を参照してください。
または、右記の QR コードから、「伝の心」トラブルシュートのサイトをご参照ください。



視線で操作ができない

「視線入力オプション取扱説明書」を参照して、各種設定などをご確認ください。

「伝の心」取扱説明書を確認したい

「伝の心」取扱説明書は、「伝の心」のデスクトップ画面の「伝の心」取扱説明書フォルダーから参照可能です。
また、右記の QR コードから表示されるサイトにて、ダウンロードも可能です。



「視線入力オプション取扱説明書」を確認したい

「視線入力オプション取扱説明書」は、「伝の心」のデスクトップ画面の「伝の心」取扱説明書フォルダーから参照可能です。
また、右記の QR コードから表示されるサイトにて、ダウンロードも可能です。



サポート

視線モードで使用する場合、トビーPCEye5 や PCEye5 のソフトに関するお問い合わせは、以下までご連絡ください。

[株式会社クレアクト お問い合わせ窓口](#)



「伝の心」に関するお問い合わせは、「伝の心」をご購入された販売店にご連絡ください。